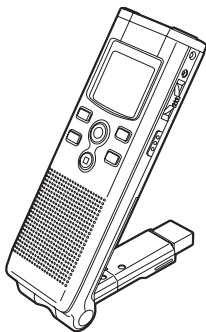
取扱説明書

ステレオデジタルボイスレコーダー

品番　ICR-S340RM

お買い上げいただきましてありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、"いつでも見られる所"に大切に保管してください。
なお、この取扱説明書は"保証書付"になっています。保証書は「お買い上げ日」、「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。

基本操作ガイドについて
すぐにご使用になりたいかたは、基本操作ガイドをご参照ください。
ただし、この取扱説明書の4ページ「安全上のご注意」と、9ページ「付属品の確認」をはじめに必ずお読みください。

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。
お問い合わせの時などに便利です。

品　番	ICR-S340RM
お買い上げ日	年　月　日
お買い上げの販売店名	電話（　　）　ー

もくじ

はじめに

基本操作

応用操作

その他

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
⃠「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

本体について

■ 分解・改造しない

分解禁止

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 運転中は使用しない

禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分ご注意ください。

■ 内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない

水場禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、乾電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
また、突然大きな音がでて耳を痛めることがありますのでボリュームは徐々に上げるようご注意ください。

■ 極端な温度条件のもとでは使用しない

禁止

結露などによる火災や感電の原因になります。
温度が5℃未満、または35℃を超える場所では使用しないでください。
湿気の多い場所で使用しないでください。身に付けている場合は、汗による湿気で故障の原因となることがあります。
水ぬれや湿気で故障と判明した場合は、保証の対象外となり無料修理はできません。

■ 置き場所に注意

禁止

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

■ 電磁波の強い場所では使用しない

禁止

高圧ケーブルや携帯電話など、電磁波の強い場所やデバイスの近くでのメッセージ録音はノイズが入りますので避けてください。

■ 磁気の発生や影響する場所に近づけない

注意

磁気の発生する近くに本機を置かないでください。また、本機を磁気カード類とも一緒にしないでください。磁気データが壊れて使用できなくなることがあります。

乾電池について

■ 乾電池は正しく入れる

注意

乾電池を入れるときはプラスとマイナスの向きに注意し、表示通りに入れてください。
間違えると乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。

■ 乾電池は充電しない

禁止

乾電池は充電しないでください。
乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

■ ショートさせない

禁止

ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。
乾電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。

■ 長時間入れたままにしない

長時間(1週間程度)使用しないときは乾電池を取り出しておいてください。
乾電池からの液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となります。

■ 使用しているときに乾電池を抜かない

本体を使用しているときには乾電池を抜かないでください。
データが壊れたり、故障の原因になります。

■ 録音内容を消去するときは、電池残量の確認をする

録音内容を消去するには、電池残量表示を確認してください。
消去の途中で電源が切れると、録音内容は消去できません。

録音中に電池残量表示の目盛りがなくなったら

すぐに録音をやめて、新しい乾電池に交換してください。

乾電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがありますので、当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビに近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

著作権について

放送やMD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

必ずお読みください

本機の使用中、万一何らかの不具合により、録音の失敗および録音内容(データ)の損失を防ぐために

1.録音前には必ず試し録音をしてください。

2.録音データを他の機器にバックアップしてください。

本機の使用中および落下や衝撃が原因での不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いかねます。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても、補償については当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

登録商標についての注意

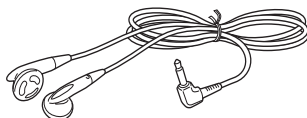
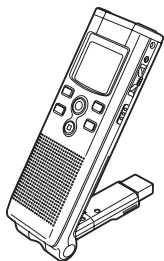
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Microsoft、Windows Media™およびWindows® ロゴは米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

- Windows Media™ PlayerはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。
- miniSD™はSDアソシエーションの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™、® マークは明記していません。

付属品の確認

箱から出し、付属品がそろっているか確認してください。

● ステレオデジタルボイス
　レコーダー本体 1

● ステレオマイク 1

● インナーイヤー型
　ステレオヘッドホン 1

● 専用USB接続ケーブル 1

● 単4形アルカリ乾電池 2
● 本書（保証書付） 1
● 基本操作ガイド 1
● CD-ROM 1

付属のソフトウェアについて

□ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されています。
□ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求などにつきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
□ 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り換えいたします。
□ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
□ 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。

※付属のCD-ROMをオーディオ用プレーヤーでは再生しないでください。

主な特長

1GBメモリ内蔵で高音質長時間録音可能！

- MP3音声データで、約142時間00分※（録音モード：LP時）の録音が可能です。録音モードについては22ページの「録音可能時間について」を参照。
- 内蔵のステレオマイクや付属のステレオマイクでステレオ録音ができます。
- WMA（Windows Media Audio）の再生ができます。

パソコンと接続可能！

- USBドライバ不要で、簡単にパソコンに接続できます。（Windows98/98SEは専用USBドライバのインストールが必要となります。→66ページ「Windows 98/98SEのUSBドライバのインストール」参照）
- フロッピーディスクなどの代わりとしてパソコンデータの一時保存にも使えます。
- 本機で作成した音声ファイルはパソコンで再生できます。（MP3が再生可能なWindows Media Playerなどのソフトウェアをインストールする必要があります）

miniSDカード使用可能！

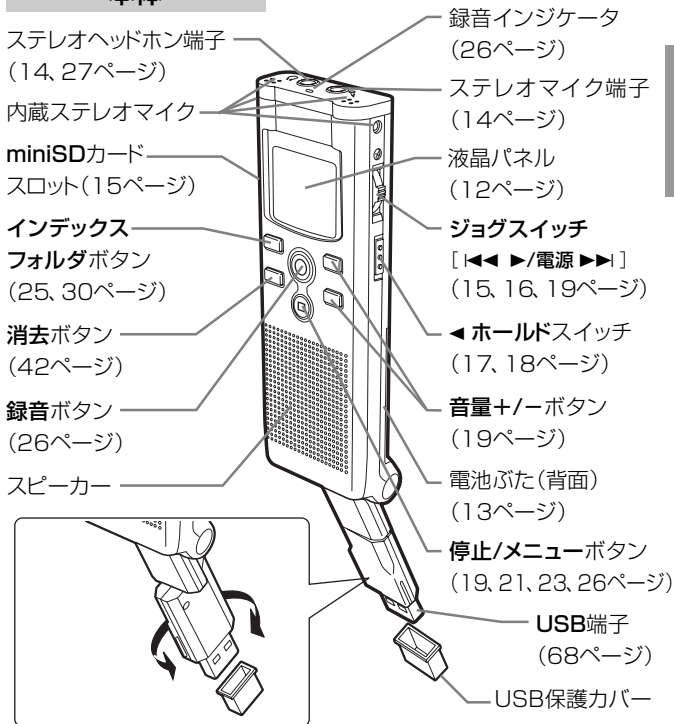
- 外部メモリとして市販のminiSDカードが使用可能です。

※ 本書は製品開発に先がけて印刷されており、その後性能改善や操作性向上のため製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

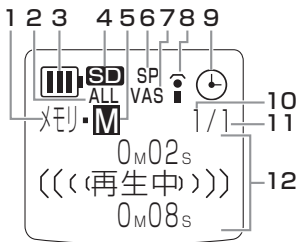
各部のなまえ

くわしくは、(　)内のページをご覧ください。

本体

ご注意

- **USB端子部**は左右に回転しますが、それぞれ停止位置があります。**無理に回転させると破損するおそれがあります**のでご注意ください。
- USB端子部には収納方向がありますでご注意ください。

液晶パネル

[すべての画面を一度に表示することはできません]

1. メモリ/カード表示
2. リピート/ランダム
3. 電池残量
4. miniSDカード
5. フォルダ名
6. 録音モード(XHQ, HQ, SP, LP)
7. VAS(音声起動録音)
8. マイク感度(高、中、低)
9. タイマー/アラーム
10. ファイル番号
11. ファイル総数
12. 各種情報表示
    (録音残時間、録音経過時間、曲名、ファイル名、アーティスト名、再生総時間、再生経過時間、動作/ファイル種別、現在日時など)

コントラストの調整

液晶パネルのコントラストの調整をすることができます。
63ページ「各種メニューの設定-コントラスト」参照。

本機の状態とスイッチ/ボタンの割り当て

押すボタン		停止中	再生中	録音中
インデックス/フォルダ	軽く	フォルダ切り換え	A-Bリピート	インデックスマーク付加
	長押し	メモリ/カード切り換え	−	−
消去	軽く	ファイル消去選択	−(ププ音)	−
	長押し	フォルダ消去選択	−(ププ音)	−
録音	軽く	新規録音開始	−(ププ音)	録音一時停止
停止/メニュー	軽く	画面表示切り換え	再生停止	録音停止
	長押し	メニュー表示	−	−
◀◀ ▶/電源 ▶▶	軽く	再生開始	再生スピード切り換え	−
	長押し	電源切り	電源切り	−
◀◀ ▶/電源 ▶▶ (左右)	軽く	ファイル選択	ファイル送り・戻し	−
	長押し	ファイル選択(連続)	早送り・早戻し	−

● (ププ音)は、BEEP音設定で、音声ガイドまたは警告音が「ON」のときに鳴ります。
61ページ「各種メニューの設定 - BEEP音設定」参照。

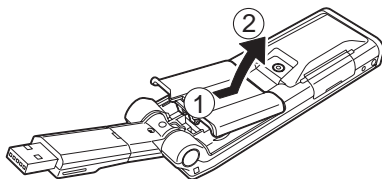
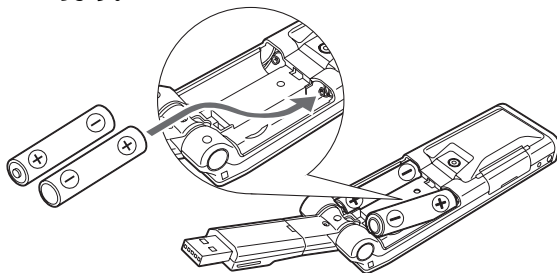
お使いになるまえに

ちょっとこれを！

本機はお買い上げ時に音声ガイドの設定が「ON」になっていますので各種設定が音声ガイドで確認できます。操作に慣れるまでは、音声ガイド「ON」の状態でのご使用をおすすめします。
61ページ「各種メニューの設定 - BEEP音設定」参照。
以降、音声ガイドの音声を『』で表示しています。

乾電池の入れ方/交換方法

電源を入れた状態で乾電池の交換をしないでください。故障やファイルが壊れるおそれがあります。

1. 図のように電池ぶたを開けます。

2. 図のように極性を間違わないように乾電池を入れ、電池ぶたを閉めます。

電池残量表示

電池残量は、液晶パネルの電池残量表示で確認してください。

電池残量表示が □ を点灯したら

🔈『電池を交換してください』

新しい単4形アルカリ乾電池に交換してください。

"電池切れです…"表示後　液晶パネル表示消灯 ——▶ 電池切れ

ご注意

- 乾電池は、温度が5℃～35℃の環境でご使用ください。特に、夏の車内には放置しないでください。
- 使いきった乾電池は各地方自治体の指示(条例)に従って処分してください。
- 録音中、録音一時停止中、再生中、消去中、ファイル分割中、フォーマット中に乾電池を抜くと、ファイルが壊れる可能性があります。
- 録音中、録音一時停止中に乾電池を抜くと、録音内容は保存されません。
- 付属の乾電池はモニタ用ですので、寿命が短いことがあります。

ステレオヘッドホン(付属)を使用する

ステレオヘッドホン端子に差し込んでください。ステレオヘッドホンを差し込むと、スピーカーから音は出ません。

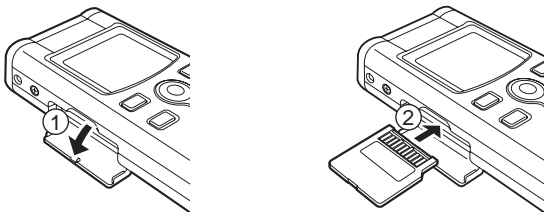
※本機ではMDプレーヤーなどに付属されているリモコン付きなどの4極プラグ端子のステレオヘッドホンはご使用になれません。

ステレオマイク(付属)を使用する

ステレオマイク端子に差し込んでください。ステレオ外部マイクを差し込むと、内蔵マイクははたらきません。ステレオマイクについては、別紙「付属マイクの上手な使い方」をごらんください。

※付属品以外の外部マイクを使用しないでください。正常に録音ができないことがあります。

miniSDカード(市販品)を使用する

● miniSDカードの入れ方

**ラベル部を下にして
カードがロックするまで挿入します。**

miniSDカードを入れると、液晶パネルに“ **SD** ”が表示されます。

● miniSDカードの取り出し方

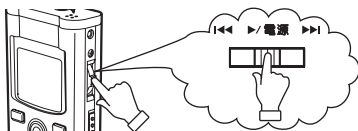
1. **ジョグスイッチ**を2秒以上押して電源を切ります。
2. miniSDカード挿入口のふたを開けます。
3. miniSDカードを一度中に押し込むと、ロックが外れて取り出せます。

ご注意

- 操作中は、絶対にminiSDカードを取り出さないでください。
- miniSDカードの端子には触れないでください。故障の原因となります。
- 静電気のある場所などにminiSDカードを置かないでください。
- miniSDカードを使用すると、自動的にフォルダなどが作成されます。そのフォルダは消さないでください。
- miniSDカードは子供の手の届かない場所に保管してください。もし飲み込んでしまった場合は、ただちに医師に相談してください。
- 128MB以上のminiSDカードを初めてお使いになる場合、読み込みに約30秒ほど時間がかかることがありますが故障ではありません。
  また、フォーマットした場合でも同様に時間がかかることがあります。
- SDカードは16MB以上512MB以下の容量をサポートしています。
  (2006年1月現在)

操作前準備

電源を入/切にする

ジョグスイッチ(電源)を押す

液晶パネルのバックライトが点灯し、"HELLO!"→"MP3 STEREO"と表示されて電源が入り、電源を切る前に選択していたファイル番号と録音残時間が表示されます。(レジューム機能)

ご購入後初めて電源を入れた時やカレンダー設定が初期化されていた時は、液晶パネルに初期化されたカレンダーが点滅表示します。

メニューモードよりカレンダーを設定してください。

19ページ「日時を設定する」参照

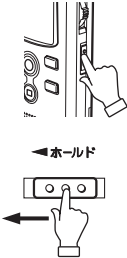
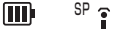
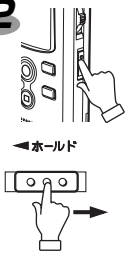
- **停止/メニューボタンを押すと点滅しているカレンダーが確定します。**

- バックライトの「ON」、「OFF」を選択できます。初期設定では「ON」に設定されています。63ページ「各種メニューの設定 - バックライト設定」参照。

再度**ジョグスイッチ(電源)**を2秒以上押すと、"SEE YOU!"と表示され、電源が切れます。

オートパワーオフ機能

- 電源が入った状態で、約15分間放置しておくと、自動的に電源が切れます。
- 録音一時停止中に、約15分間放置しておくと、録音していたファイルを作成、保存した後、電源が切れます。

レジューム機能

電源を切る前に選択していたファイル番号とファイルの再生を停止させた位置を記憶しています。
次に電源を入れたときは同じファイル位置で停止していますので、ファイルの続きから再生を開始することができます。

- フォルダを切り換えたり、パソコンに接続あるいは電源が入っている状態で電池を抜くとレジューム機能は解除され、ファイルの続きから再生を開始することはできません。

誤動作を防止する(ホールド機能)

録音または再生中などに誤ってボタンを押し、動作を中断してしまうことを防ぎます。

操作とはたらき		液晶パネル表示
1 ◀ホールド	**ホールドスイッチを矢印の方向に切り換える** 🔈『ホールドオンです』 ● “ホールド設定”と表示され、ホールド機能がはたらきます。 ● ホールド機能中に、操作ボタンを押すと、“ホールド設定”と表示され、各ボタンは機能しません。	SP ホールド設定 15:40

操作とはたらき		液晶パネル表示
	ホールドスイッチを矢印の反対方向に切り換える 『ホールドオフです』 ● “ホールド解除”と表示され、ホールド機能が解除されます。	SP ホールド解除 15:40

ビープ音･音声ガイドの有無を選択する

ボタンを押したときのビープ音･音声ガイドの有無を選択できます。
初期設定では音声ガイドが「ON」になっています。
61ページ「各種メニューの設定 - BEEP音設定」参照。

メニューモードを選択する

メニュー項目はシンプルとエキスパートの二つの表示方法を選択することができます。

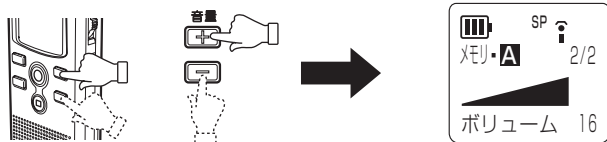
シンプルメニューモード： 基本的なメニュー項目のみを表示します。

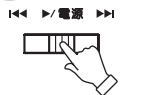
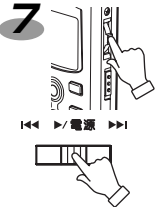
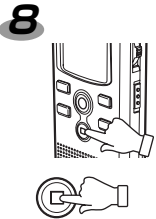
エキスパートメニューモード： すべてのメニューを表示します。初期設定に設定しています。

64ページ「各種メニューの設定 - メニューモード」参照。

※ 以降の各種メニューの設定はエキスパートメニューモードを基本として説明しています。
そのため、シンプルメニューモードで各種メニューの設定をする場合、表示や設定の手順が異なりますが、表示をもとに操作してください。

音量を調節する

● 録音･再生･停止中に**音量＋/－**ボタンを押すと、下の画面が表示され音量を調節することができます。

● 音量レベル0～20の範囲で調節できます。

日時を設定する

録音を開始する前に、日時の設定･確認をおこなってください。

ちょっとこれを!

長時間使用していると時刻表示がずれることがありますので、その時は正しい時刻に設定をしなおしてください。

操作とはたらき		液晶パネル表示
1 停止/メニュー	**停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す** 『音声メニューです』 ● 大分類メニュー選択画面が表示されます。	SP VOICE MUSIC 共通
2 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「共通」を選択する** 『共通メニューです』	

操作とはたらき		液晶パネル表示
3 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチを押す** 🔊『ビープ音設定モードです』 ● 共通メニュー選択画面が表示されます。	SP BEEP音設定 カレンダー設定 タイマー設定 フォーマット
4 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「カレンダー設定」を選択する** 🔊『カレンダ設定モードです』	
5 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● 時刻設定画面が表示されます（西暦表示が反転しています）。	SP 【時刻設定】 2006年 3月 1日 24H 0時 0分
6 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて西暦を設定する** ● ジョグスイッチを ▶▶I 方向にスライドさせると日時が進み、I◀◀ 方向にスライドさせると日時が戻ります。	

操作とはたらき		液晶パネル表示
7 	**ジョグスイッチを押す** ● 西暦が決定し、次の月表示が反転します。 ● 同様の操作で、月、日、12/24時間表示、時、分を設定します。最後に「分」を設定した後、**ジョグスイッチ**を押してください。 🔈『カレンダ設定しました』 日時が設定され、共通メニュー選択画面に戻ります。	SP 【時刻設定】 2006年 3月 1日 24H 0時 0分
8 	**停止/メニューボタンを2度押す** ● もとの停止状態に戻ります。 ● 日時設定を途中で中止するには、設定中に**停止/メニュー**ボタンを押します。 ● 乾電池を抜くと、日時がリセットされる場合があります。	

録音する

風の強い場所など、環境によって録音状態が変わります。
必ず事前に試しに録音して正常に録音されることを確認してください。

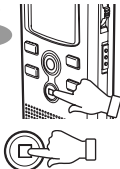
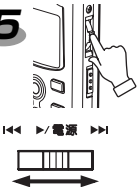
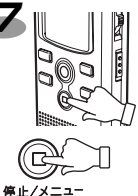
ご注意

録音中に本機を持ち替えたり、ボタンなどをこすると、不要な音を録音してしまう場合がありますので、ご注意ください(外部マイクを使用すると、不要な音が録音されにくくなります)。

録音フォルダについて

本機で録音したファイルはすべてVOICEフォルダ内のA～Dフォルダに保存されます。また、ファイル名は録音順に自動的に付けられて保存されます。ファイル名については97ページをご覧ください。

録音可能時間について

録音可能時間は録音モード(音質レベル)によって変化します。録音モードは下表の通り4種類あり、初期設定ではSP(スタンダードモード)になっています。

録音モード	ステレオ/モノラル	録音可能時間
XHQ(ｴｸｽﾄﾗﾊｲｸｵﾘﾃｨﾓｰﾄﾞ)	ステレオ	約17時間40分
HQ(ﾊｲｸｵﾘﾃｨﾓｰﾄﾞ)	ステレオ	約35時間20分
SP(ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾓｰﾄﾞ)	ステレオ	約71時間00分
LP(ﾛﾝｸﾞﾓｰﾄﾞ)	モノラル	約142時間00分

ちょっとこれを!

- **録音可能時間は、お買い上げ時の何も録音データなどが入っていない状態で、1つの録音モードで最初から最後まで録音した場合の最大時間です。**
- 会話を録音する場合は、HQ、SP またはLPモードをお選びください。
XHQでの録音はおすすめできません。
- 楽器のお稽古／練習などを録音する場合はXHQモードをお選びください。
- デジタルボイスレコーダーは、会話などの音声録音を主目的としたものであり、音楽を録音した際、音楽の種類や音量／環境によって、音割れなどが発生する場合があります。本格的な音楽録音をする際は、専用の音楽録音機器のご使用をおすすめします。
- 長時間における連続録音/再生の場合、途中で乾電池の交換が必要です。

録音モードを選択する

	操作とはたらき	液晶パネル表示
1 停止/メニュー	**停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す** 『音声メニューです』 ● 大分類メニュー選択画面が表示されます。	VOICE MUSIC 共通
2 ⏮ ▶/電源 ⏭	**「VOICE」が選択されていることを確認してジョグスイッチを押す** 『ファイル分割モードです』 ● VOICEメニュー選択画面が表示されます。	ファイル分割 録音モード マイク感度 VAS設定
3 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「録音モード」を選択する** 『録音設定モードです』	
4 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● 録音モード選択画面が表示されます（現在選択されている録音モードが反転しています）。	【録音モード】 XHQ HQ SP LP

操作とはたらき		液晶パネル表示
5 ◀◀ ▶/電源 ▶▶	**ジョグスイッチをスライドさせて希望の録音モード(XHQ, HQ, SP, LP)を選択する**	
6 ◀◀ ▶/電源 ▶▶	**ジョグスイッチを押す** 『○○モードに設定しました』 ● 録音モードが確定し、VOICEメニュー選択画面に戻ります。	LP ファイル分割 録音モード マイク感度 VAS設定
7 停止/メニュー	**停止/メニューボタンを2度押す** ● もとの停止状態に戻ります。	LP メモリ・A 4/4 0M00S 録音残時間 54H8M32S

ご注意

各録音モードの最大録音時間とは別に、**本機で録音できる**最大ファイル数は1フォルダにつき99ファイルとなります。録音残時間が残っていても、100以上のファイルを録音することはできません。
100ファイル目を録音しようとすると、"ファイルが一杯です"と表示されます。(『ファイルが一杯です。録音できません』)
空いているフォルダに切り換えるか、不要なファイルを消去してください。
41ページ「ファイルを消去する」参照。

録音するメモリ・フォルダを選択する

本機にminiSDカードが入っている場合→手順 1 から、
本機にminiSDカードが入っていない場合→手順 2 のみ
の操作になります。

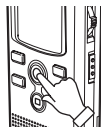
	操作とはたらき	液晶パネル表示
	インデックス フォルダボタンを2秒以上押して、録音するメモリ(内蔵メモリまたはカード)を選択する 『Aフォルダ』または『カードAフォルダ』 ● メモリまたはカードの表示が切り換わります(カードが入っていない場合は切り換わりません)。	 または
	インデックス フォルダボタンを押して、録音するフォルダ(A・B・C・D)を選択する 『Bフォルダ』 ● A・B・C・Dが切り換わります。	

ご注意

- フォルダを切り換えると、A・B・C・Dの次にMフォルダが表示されますが、Mフォルダを選択して録音した場合、自動的にAフォルダに録音されます。Aフォルダの内容が一杯のときは録音されません。
- 内蔵メモリのMフォルダを選択したときは、内蔵メモリのAフォルダに録音され、カードのMフォルダを選択したときは、カードのAフォルダに録音されます。

Mフォルダについては40ページをご覧ください。

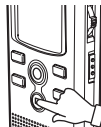
3 録音を開始する

録音ボタンを押す

録音インジケータが点灯して液晶パネルに“ 録音中 ”が表示され、録音が開始されます(以降、録音モードはSP(スタンダードモード)で説明します)。

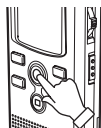
現在録音しているファイル番号/ファイル総数と録音経過時間、録音残時間を表示します。

- 自動的に録音日時(録音開始時刻)も記録されます(停止中に**停止/メニュー**ボタンを押して表示を切り換えていくと録音日時が表示されます)。
- 録音インジケータの「ON」、「OFF」を選択できます。初期設定では「ON」に設定されています。
  63ページ「各種メニューの設定 - 録音LED」参照。

録音を停止するには

停止/メニューボタンを押す

録音残時間が表示され、録音したファイルの先頭に戻ります。

録音を一時停止するには

録音中に、録音ボタンを押す

録音経過時間が点滅します。

再度**録音**ボタンを押すと、録音を再開します。

● 録音一時停止中に、約15分間放置しておくと、録音していたファイルを作成、保存した後、電源が切れます(オートパワーオフ機能)。

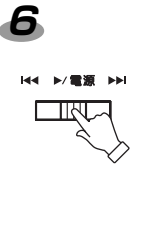
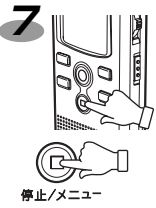
録音内容をモニターするには

ステレオヘッドホン端子にステレオヘッドホンを差し込みます。その状態で、26ページからの手順にしたがって録音を開始すると、録音している内容をステレオヘッドホンから聞くことができます。**音量+/−**ボタンを押すと、モニター中にステレオヘッドホンから聞こえてくる音量を調節できます。

スピーカーからモニター音は出力されません。

録音(マイク)感度の設定

本機では録音感度(高/中/低)の設定ができます。

初期設定では「中感度」に設定されていますが、録音をされる前にテスト録音し、適切な感度の切り換えをおこなってください。

● 付属のステレオマイクを接続して通常の会話を録音する時は、録音(マイク)感度を「高」感度に設定してください。

(58ページ「各種メニューの設定 - マイク感度」参照)

VAS:音声起動録音設定について

VASとは、録音状態で音声を感知したときに自動的に録音を開始し、音声が一定のレベル以下になると録音が自動的に一時停止するという機能です。

	操作とはたらき	液晶パネル表示
1 停止/メニュー	**停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す** 『音声メニューです』 ● 大分類メニュー選択画面が表示されます。	SP VOICE MUSIC 共通
2 ⏮ ▶/電源 ⏭	**「VOICE」が選択されていることを確認してジョグスイッチを押す** 『ファイル分割モードです』 ● VOICEメニュー選択画面が表示されます。	SP ファイル分割 録音モード マイク感度 VAS設定
3 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「VAS設定」を選択する** 『VAS設定モードです』	
4 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● VAS設定画面が表示されます(現在の設定が反転しています)。	SP 【VAS設定】 OFF ON

操作とはたらき		液晶パネル表示
5 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「ON」を選択する**	
6 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチを押す** 🔈『VASオンに設定しました』 ● VAS設定が「ON」になり(VASの文字が表示)、VOICEメニュー選択画面に戻ります。	SP VAS ファイル分割 録音モード マイク感度 VAS設定
7 停止/メニュー	**停止/メニューボタンを2度押す** ● もとの停止状態に戻ります。	SP VAS メモリ・A 3/3 0M00S 録音残時間 27H4M33S
8 録音	**録音ボタンを押す** ● 音声を感知しないと録音待機状態になり、音声を感知すると自動的に録音が開始されます。 (録音待機状態:VAS表示と録音経過時間が点滅)	SP VAS メモリ・A 4/4 0M02S 録音中 27H4M31S

マイクセンサーの感知レベル

VAS機能を「ON」に設定している場合は、録音中に**ジョグスイッチ**をスライドさせて、マイクセンサーの感知レベルを設定することができます。
VASの感知レベルは「VAS値 1～VAS値 5」の範囲で、数値を画面表示します（初期値＝3）。
数値が高い方が小さな音でも起動しやすくなりますが、雑音の多いところでは、逆に録音が止まらない場合があります。
マイク感度をご使用の目的に合わせて「高」、「中」または「低」に切り換えて、VASの感知レベルを調整してください。

- 小さな音声のときは、この機能が働かない場合があります。大切な録音をする場合は、VAS機能を「OFF」にしてください。

インデックス（再生頭出し機能）をつける

録音中に**インデックス フォルダ**ボタンを押すと、「**インデックス記録中XX/32**」を表示してその箇所にインデックスマークがつき、そのまま録音を続けることができます。再生時に頭出しするときに便利です。
ひとつのファイルに対して、32箇所までのインデックスマークをつけることができますが、個々のインデックスマークを消去することはできません。

※ 33箇所目のインデックスマークをつけようとすると「**インデックスが一杯です**」と表示されます。

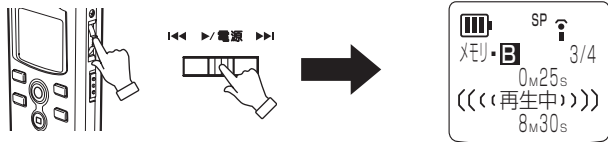
再生する

再生するファイルを選択する

本機にminiSDカードが入っている場合→手順 **1** から、
本機にminiSDカードが入っていない場合→手順 **2** から、
の操作になります。

操作とはたらき		液晶パネル表示
   	インデックス フォルダボタンを2秒以上押して、再生するファイルが入っているメモリ(内蔵メモリまたはカード)を選択する 🔈『Aフォルダ』または『カードAフォルダ』 ● メモリまたはカードの表示が切り換わります(カードが入っていない場合は切り換わりません)。	 または
  	インデックス フォルダボタンを押して、再生するファイルが入っているフォルダ(A・B・C・D・M)を選択する 🔈『Bフォルダ』 ● A・B・C・D・Mが切り換わります。	
  	ジョグスイッチをスライドさせて、再生したいファイルを選択する	

2 再生を開始する

ジョグスイッチを押す

再生を開始します。
再生中はファイル番号/ファイル総数と再生経過時間が表示されます。
A～Dフォルダ内の音声ファイルを再生中は" 再生中 "と再生総時間が表示されます。
Mフォルダ内の音楽ファイルを再生中は、ファイルの種類と曲名またはファイル名が表示されます。また、ビットレート(kbps)やリピート/ランダム設定も表示されます。詳しくは、40ページをご覧ください。

● A～Dフォルダでの再生は、最後のファイルを再生後、停止します。

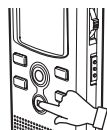
ご注意

● 容量の大きいファイルまたは128MB以上の新しいminiSDカードは、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります。また、ファイル数が極端に多い場合も、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります。
● MP3･WMAファイルによっては、再生時間表示と実際の再生時間が異なることがあります。
● MP3･WMA形式のファイルでも、本機で正常に再生できない場合があります。

ちょっとこれを！

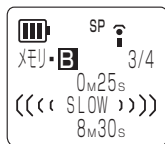
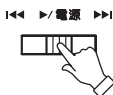
Mフォルダを選択中にサブフォルダ内の音楽ファイルを選択するには、101ページの「フォルダ音楽再生について」をご覧ください。

再生を途中で停止するには

停止/メニューボタンを押す

再生していたファイル番号/ファイル総数、再生経過時間と録音残時間またはアーティスト名と曲名（またはファイル名）が表示されます。
ジョグスイッチを押すと、続きから再生を再開します。

再生スピードを切り換えるには

音声ファイルまたは音楽ファイルを再生中に、再生スピードを切り換えることができます。

再生中に、ジョグスイッチを押す

押すたびに以下の順に切り換わります。

→「標準（"再生中"表示）」
↓
「遅い（"SLOW"表示）」... ゆっくりしたスピードで再生（標準の約0.75倍速）
↓
「速い（"FAST"表示）」..... 速いスピードで再生（標準の約1.2倍速）

- 再生を停止すると、再生スピードは標準スピードに戻ります。
- 早送り・早戻しをしても、再生スピードは標準スピードに戻りません。また、ファイル送り・戻しをしても標準スピードに戻りません。
- WMAファイルでモノラル録音されたものは再生スピードの切り換えはできません。標準スピードで再生されます。
- ファイルによっては正常に再生できない場合があります。

再生を早送り・早戻しするには

再生中に、ジョグスイッチを |◀◀ または ▶▶| 方向にスライドして、2秒以上押し続ける

現在再生しているファイルを早送り・早戻しします。

■ **早送り(▶▶|)**

ファイルの最後まで早送りすると、次のファイルの先頭から早送り再生を続けます。

最終ファイルの早送り再生終了後、A～Dフォルダ内の音声ファイルを早送り中は停止状態になり、Mフォルダ内の音楽ファイルを早送り中は最初のファイルの先頭から早送り再生を続けます。

■ **早戻し(|◀◀)**

ファイルの先頭まで早戻しすると、そのひとつ前のファイルの最後から早戻し再生を続けます。

先頭のファイルの早戻し再生終了後、A～Dフォルダ内の音声ファイルを早戻し中は停止状態になり、Mフォルダ内の音楽ファイルを早戻し中は最後のファイルの最後から早戻し再生を続けます。

早送り・早戻し再生中、ファイルの音声は出力されます。

ジョグスイッチから指をはなすと早送り・早戻し再生を解除し、通常再生に戻ります。

- **ジョグスイッチをスライドして押し続けると、早送り・早戻し再生の速度は順次変わっていきます。**

ファイル送り・戻しするには

再生または停止中に、ジョグスイッチを ⏮ または ⏭ 方向に軽くスライドする

連続でファイル送り・戻しをするには、停止中に**ジョグスイッチ**を ⏮ または ⏭ 方向に軽くポンポンと繰り返しスライドします。
停止中にファイルを選択した場合は、**ジョグスイッチ**を押して再生を開始してください。

- 再生中に**ジョグスイッチ**を ⏮ 方向に軽くスライドさせると、再生中のファイルの頭に戻り再生されます。続けて軽くスライドさせると、前のファイルに移動します。
- 再生中のファイルにインデックスマーク（30ページ）が付いているとき、**ジョグスイッチ**を ⏮ または ⏭ 方向に軽くスライドさせると、インデックスサーチになります。

インデックスサーチするには

再生中に、ジョグスイッチを ⏮ または ⏭ 方向に軽くスライドする

インデックスマーク（30ページ）をサーチし、その箇所から再生します。

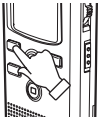
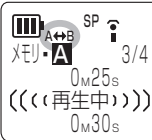
- ファイルにインデックスマークが付いていないとき、**ジョグスイッチ**を ⏮ または ⏭ 方向に軽くスライドさせると、ファイル送り・戻し動作になります。

リピート/ランダム再生について

Mフォルダ内の音楽ファイルを再生するときに、1つのファイルまたはすべてのファイルを繰り返し再生することができます。また、すべてのファイルをランダムに繰り返し再生することもできます。

	操作とはたらき	液晶パネル表示
1 停止/メニュー	**停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す** 『音声メニューです』 ● 大分類メニュー選択画面が表示されます。	SP ALL VOICE MUSIC 共通
2 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「MUSIC」を選択する** 『ミュージックメニューです』	
3 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチを押す** 『サウンドイコライザーモードです』 ● MUSICメニュー選択画面が表示されます。	SP ALL サウンドEQ BASS設定 リピートモード
4 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「リピートモード」を選択する** 『リピート設定モードです』	
5 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● リピート選択画面が表示されます(現在の設定が反転しています)。	SP ALL 【リピート】 ONE ALL RANDOM

	操作とはたらき	液晶パネル表示
6	**ジョグスイッチをスライドさせて希望のリピートモード※（ONE, ALL, RANDOM）を選択する**	
7	**ジョグスイッチを押す** 『○○リピートに設定しました』 ● リピートが確定し、MUSICメニュー選択画面に戻ります。	
8	**停止/メニューボタンを2度押す** ● もとの停止状態に戻ります。	
9	**ジョグスイッチを押す** ● 選択したリピートモードで再生が開始されます。	

※リピートモード

「ONE」............ 1つのファイルを繰り返し再生

「ALL」............. 現在選択中のフォルダ内のすべてのファイルを繰り返し再生

「RANDOM」... 現在選択中のフォルダ内のすべてのファイルを順不同に繰り返し再生

A-Bリピート機能について

A-Bリピート機能を使って、ファイル中の特定の区間を繰り返し再生することができます。

操作とはたらき		液晶パネル表示
	再生中に、A-Bリピート再生したい場所の開始地点でインデックス フォルダボタンを1回押す ● A地点（リピート開始地点）が決定され、「A→」が表示されます。	
	次に終了地点でインデックス フォルダボタンをもう1度押す ● B地点（リピート終了地点）が決定され、「A↔B」が表示されます。これで特定の区間（A地点－B地点）を繰り返し再生します。 ● A-Bリピート再生中に、**インデックス フォルダ**ボタンを押すと、A-Bリピートが解除され通常の再生に戻ります。	

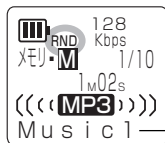
ご注意

● A地点やB地点の設定後に早送り･早戻しをすると、A-Bリピート設定が解除されます。
● A-Bリピート設定中に、A地点決定後、そのまま再生中のファイルの最後まで到達した場合、そのファイルの最後をB地点と決定し、A-Bリピートを実行します。
● A地点とB地点の設定間隔は、2秒以上の間隔が必要です。

音楽ファイルの再生

Mフォルダ内の音楽ファイルを再生するときは

- 音楽ファイルの種類(MP3・WMA)とビットレート(Kbps)が表示されます。
- リピート/ランダム設定が表示されます。

〔再生中〕

－MP3ファイル再生時－
(ランダム設定)

－WMAファイル再生時－
(ALLリピート設定)

〔停止中〕(MP3・WMA共通)

音楽ファイルによってはアーティスト名や曲名が登録されていても、アーティスト名や曲名が表示されないこともあります。

ちょっとこれを!

miniSDカードが入っている場合でリピートモードが「ALL」のときは、内蔵メモリのMフォルダの再生が終わると、自動的にカードのMフォルダが再生されます。

→内蔵メモリ(Mフォルダ) → カード(Mフォルダ)

リピートモードが「RANDOM」のときは、各メモリ内でランダム再生を繰り返します。

消去する

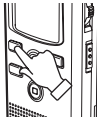
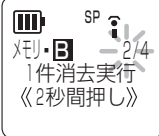
「ファイルを消去する」・「フォルダ内の全ファイルを消去する」で消去できるのは、本機で再生可能なMP3・WMAファイルのみです。

- 他の形式のファイルは消去できません。
- MP3・WMAファイルも再生可能なフォルダに入っていない場合、消去できません。
- 読み取り専用ファイルは消去できません。

ご注意

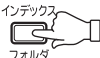
消去する時は、乾電池の残量が充分にあることを確認してください。

ファイルを消去する

本機にminiSDカードが入っている場合→手順 **1** から、
本機にminiSDカードが入っていない場合→手順 **2** から、
の操作になります。

操作とはたらき		液晶パネル表示
1	**インデックス フォルダボタンを2秒以上押して、消去するファイルが入っているメモリ(内蔵メモリまたはカード)を選択する** 『Aフォルダ』または『カードAフォルダ』 ● メモリまたはカードの表示が切り換わります(カードが入っていない場合は切り換わりません)。	 または

	操作とはたらき	液晶パネル表示
  	インデックス フォルダボタンを押して、消去するファイルが入っているフォルダ(A･B･C･D･M)を選択する 『Bフォルダ』 ● A･B･C･D･Mが切り換わります。	SP メモリ・B 1/4 0M00S 録音残時間 27H4M16S
 I◀◀ ▶/電源 ▶▶I	**ジョグスイッチをスライドさせて、消去したいファイルを選択する** ● 次の手順 ***4*** で**消去**ボタンを押した後でもファイルを選択できます。	
  	停止状態で、消去ボタンを短く押す 『ファイルを消去します』 ● “1件消去実行 《2秒間押し》”が表示され、消去されるファイル番号が点滅します。 ● このとき、**ジョグスイッチ**を軽くスライドさせて消去するファイルの選択ができます。 ● 5秒間放置するか、**停止/メニュー**ボタンを押すと、消去を中止して、もとの停止状態に戻ります。	SP メモリ・B 2/4 1件消去実行 《2秒間押し》

操作とはたらき		液晶パネル表示
5	**再度消去ボタンを2秒以上押す** 🔈『消去しました』 ● “ファイル削除 実行中”と表示されて選択したファイルが消去され、停止状態になります。 ● 消去後のファイル番号は繰り上がります。	

ちょっとこれを！

Mフォルダを選択中にサブフォルダ内の音楽ファイルを選択するには、101ページの「フォルダ音楽再生について」をご覧ください。

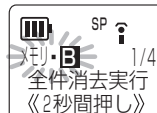
ご注意

前ページの4項 **「停止状態で、消去ボタンを短く押す」**の操作の時に、**2秒以上消去ボタンを押すと、フォルダ内全てのファイルが消去の対象**となりますのでご注意ください。

フォルダ内の全ファイルを消去する

本機にminiSDカードが入っている場合→手順 1 から、
本機にminiSDカードが入っていない場合→手順 2 から、
の操作になります。

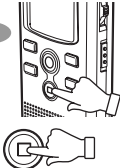
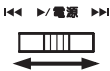
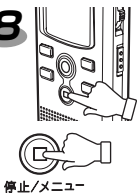
	操作とはたらき	液晶パネル表示
	インデックス フォルダボタンを2秒以上押して、消去するファイルのあるメモリ（内蔵メモリまたはカード）を選択する 🔈『Aフォルダ』または『カード Aフォルダ』 ● メモリまたはカードの表示が切り換わります（カードが入っていない場合は切り換わりません）。	 0M00S 録音残時間 27H4M16S または 録音残時間 27H4M16S
	インデックス フォルダボタンを押して、消去するフォルダ（A・B・C・D・M）を選択する 🔈『Bフォルダ』 ● A・B・C・D・Mが切り換わります。 ● 次の手順 3 で**消去**ボタンを押した後でも消去するフォルダを選択できます。	

	操作とはたらき	液晶パネル表示
3 消去	**停止状態で、消去ボタンを2秒以上押す** 🔈『フォルダ内のファイルを消去します』 ● 「全件消去実行《2秒間押し》」が表示され、消去されるフォルダ名が点滅します。 ● このとき、**ジョグスイッチ**を軽くスライドさせて消去するフォルダの選択ができます。 ● 5秒間放置するか、**停止/メニュー**ボタンを押すと、消去を中止して、もとの停止状態に戻ります。	
4 消去	**再度消去ボタンを2秒以上押す** 🔈『消去しました』 ● "ファイル削除 実行中"と表示されて選択したフォルダ内のすべての再生対象ファイルが消去され、停止状態になります。	

ちょっとこれを！

ミュージックモードを選択中に特定のサブフォルダ内の全ファイルを消去しても、サブフォルダ自体を消去することはできません。パソコンに接続して消去してください。

全データを消去する(フォーマットする)

選択したメモリまたはカードの内容がすべて消去されます。消去する前に必要なデータは、前もって必ずバックアップしてください。

ご注意

● **内蔵メモリのフォーマットをすると音声ガイドも消えてしまいます。**
音声ガイドが必要な場合は、付属CD-ROMのソフトウェアを実行して、再度音声ガイドをダウンロードしてください。(73ページ「音声ガイドをダウンロードする」参照)

● **メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意**
フォーマットを行っても、データを復元するソフトを使うと、カード内のデータを復元できる場合があります。カードを廃棄または他人に譲渡する場合は、カードを物理的に破壊するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理ください。

	操作とはたらき	液晶パネル表示
1 停止/メニュー	**停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す** 『音声メニューです』 ● 大分類メニュー選択画面が表示されます。	SD SP VOICE MUSIC 共通
2 ◀◀ ▶/電源 ▶▶	**ジョグスイッチをスライドさせて「共通」を選択する** 『共通メニューです』	
3 ◀◀ ▶/電源 ▶▶	**ジョグスイッチを押す** 『ビープ音設定モードです』 ● 共通メニュー選択画面が表示されます。	SD SP BEEP音設定 カレンダー設定 タイマー設定 フォーマット

操作とはたらき		液晶パネル表示
4 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「フォーマット」を選択する** 🔈『メモリのフォーマットをおこないます……』	
5 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● フォーマット画面が表示されます。	SD SP 【初期化】 取消 メモリ（内蔵）IC カード（miniSD）
6 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせてフォーマットする「メモリ(内蔵)IC」または「カード(miniSD)」を選択する** ● フォーマットを中止するには、「取消」を選択して、**ジョグスイッチ**を押します。	
7 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチを押す** ●「フォーマット実行中」→「フォーマット完了！」が表示され、選択したメモリ内の全データが消去されます。	SD SP フォーマット 完了！
8 停止/メニュー	**停止/メニューボタンを2度押す** ● もとの停止状態に戻ります。	SD SP メモリ・A 0/0 0M00S 録音残時間 36H22M45S

表示する

停止状態で**停止/メニュー**ボタンを押すと、画面表示が以下の順番で切り換わります。

表示順	現在位置がVOICE(A・B・C・D)フォルダ		現在位置がMUSIC(M)フォルダ	
	再生対象ファイル有	再生対象ファイル無	再生対象ファイル有	再生対象ファイル無
1	録音残時間 SP メモリ・A 1/4 0M00S 録音残時間 26H18M32S	録音残時間 SP メモリ・A 0/0 0M00S 録音残時間 27H56M23S	アーティスト・曲名 ALL SP メモリ・M 1/10 0M02S Artist1 Music1	現在日時 ALL SP メモリ・M 0/0 現時刻 2006年3月1日 14時16分
2	現在日時 SP メモリ・A 1/4 現時刻 2006年3月1日 14時16分	現在日時 SP メモリ・A 1/4 現時刻 2006年3月1日 14時16分	現在日時 ALL SP メモリ・M 1/10 現時刻 2006年3月1日 14時16分	—
3	選択中のファイルの再生総時間 SP メモリ・A 1/4 0M00S 再生総時間 10M02S	—	選択中の曲の再生総時間 ALL SP メモリ・M 1/10 0M00S 再生総時間 4M15S	—
4	選択中のファイルの録音日時 SP メモリ・A 1/4 録音日時 2006年3月1日 15時36分	—	—	—

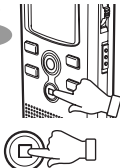
ちょっとこれを!

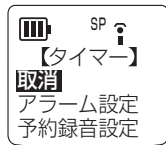
アーティスト名や曲名は、曲によって表示されない場合があります。

タイマーを使用する

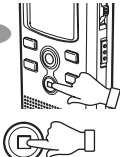
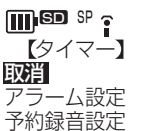
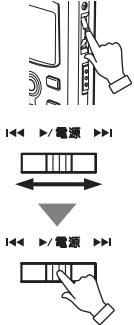
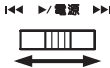
タイマーを設定する前には必ず日時を設定してください。(19ページ)

アラームを設定する

指定時間にお好みのファイルを再生する(またはアラーム音を鳴らす)ことができます。
お好みのファイルを再生する場合は、あらかじめ再生したいファイルを内蔵メモリのALARMフォルダ内に入れておいてください(90〜96ページを参照ください)。
「MUSIC」選択時にALARMフォルダ内にファイルがない場合は、アラーム音を約10秒間鳴らします。

操作とはたらき		液晶パネル表示
1 停止/メニュー	**停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す** 『音声メニューです』 ● 大分類メニュー選択画面が表示されます。	SP VOICE MUSIC 共通
2 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「共通」を選択する** 『共通メニューです』	
3 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチを押す** 『ビープ音設定モードです』 ● 共通メニュー選択画面が表示されます。	SP BEEP音設定 カレンダー設定 タイマー設定 フォーマット

操作とはたらき		液晶パネル表示
4 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「タイマー設定」を選択する** 🔊『タイマー設定モードです』	
5 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● タイマー選択画面が表示されます。	SP 【タイマー】 取消 アラーム設定 予約録音設定
6 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「アラーム設定」を選択する** ● アラーム設定を中止するには、「取消」を選択して、**ジョグスイッチ**を押します。	
7 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチを押す** ● アラーム時刻設定画面が表示されます(時表示が反転しています)。	SP 【アラーム時刻】 24H 14時 6分

操作とはたらき		液晶パネル表示
8	**ジョグスイッチを使って、アラーム時刻を設定する** ● 時、分を設定し、**ジョグスイッチ**を押すと、アラーム音選択画面を表示します（現在の設定が反転しています）。	SP 【アラーム時刻】 BEEP MUSIC
	ジョグスイッチをスライドさせて「ＢＥＥＰ」または「MUSIC」を選択する	
	ジョグスイッチを押す 『アラームを設定しました』 ● アラームを設定し、共通メニュー選択画面に戻ります。 ● アラームを設定すると、“((•))”が表示されます。アラーム実行後は、表示が消えます。	
	停止/メニューボタンを2度押す ● 指定時間になると、「MUSIC」選択時はALARMフォルダ内のファイルを再生し、「BEEP」選択時はアラーム音が鳴ります。 （アラーム再生中は、“((•))”が点滅します。）	

アラーム設定を途中で中止するには、設定中に**停止/メニュー**ボタンを押します。

ちょっとこれを!

アラーム設定時間に電源が切れている場合は、自動的に電源が入りアラーム機能が働きます。

予約録音する

指定時間に音声の録音を開始することができます。録音したファイルは指定したフォルダに保存されます。また、ファイル名は録音順に自動的に付けられて保存されます。ファイル名については97ページをご覧ください。

ご注意

タイマー録音する時は、乾電池の残量が充分にあることを確認してください。

	操作とはたらき	液晶パネル表示
1 停止/メニュー	**停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す** 『音声メニューです』 ● 大分類メニュー選択画面が表示されます。	SD SP VOICE MUSIC 共通
2 ⏮ ▶/電源 ⏭	**ジョグスイッチをスライドさせて「共通」を選択する** 『共通メニューです』	

	操作とはたらき	液晶パネル表示
3 I◀◀ ▶/電源 ▶▶I	**ジョグスイッチを押す** 『ビープ音設定モードです』 ● 共通メニュー選択画面が表示されます。	SD SP BEEP音設定 カレンダー設定 タイマー設定 フォーマット
4 I◀◀ ▶/電源 ▶▶I	**ジョグスイッチをスライドさせて「タイマー設定」を選択する** 『タイマー設定モードです』	
5 I◀◀ ▶/電源 ▶▶I	**ジョグスイッチを押す** ● タイマー選択画面が表示されます。	SD SP 【タイマー】 取消 アラーム設定 予約録音設定
6 ▶/電源 ▶▶I	**ジョグスイッチをスライドさせて「予約録音設定」を選択する** ● 予約録音設定を中止するには、「取消」を選択して、**ジョグスイッチ**を押します。	
 	ジョグスイッチを押す ● 予約録音開始時刻設定画面が表示されます(時表示が反転しています)。	SD SP 【予約録音時刻】 24H 14時 6分 30m 1h 2h MAX

基本操作

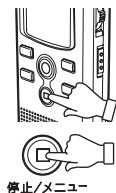
タイマーを使用する

操作とはたらき		液晶パネル表示
     	ジョグスイッチを使って、予約録音開始時刻、録音時間を設定する ● 予約録音開始時刻(時、分)、録音時間※を設定し、**ジョグスイッチ**を押すと、予約録音-フォルダ指定画面が表示されます。 ※ 30m.... 30分 1h........ 1時間 2h........ 2時間 MAX.... **停止/メニュー**ボタンを押すか、録音残時間がなくなるまで	SD SP 【予約録音】 【フォルダ指定】 ﾒﾓﾘ・ A B C D ｶｰﾄﾞ・ A B C D
  	ジョグスイッチをスライドさせて、録音するファイルを作成するフォルダを指定する ● 「メモリ」または「カード」のフォルダを選択します。	

操作とはたらき	液晶パネル表示

10 ジョグスイッチを押す

『予約録音を設定しました』

- 予約録音を設定し、共通メニュー選択画面に戻ります。
- 予約録音を設定すると、"Ⓛ"が表示されます。予約録音実行後は、表示が消えます。

11 停止/メニューボタンを2度押す

- 指定時間になると、録音が自動的に開始され、録音するファイルが指定したフォルダ内に作成されます。

（予約録音中は、"Ⓛ"が点滅します。）

- 右図のようにタイマー記号に×が入る場合は
  1. 録音残時間がない
  2. ファイルがいっぱい
  3. miniSDカードが挿入されていない
  4. 予約録音時間が来たのに、録音/再生/一時停止中などの操作をしている

  以上の原因により録音されません。

予約録音設定を途中で中止するには、設定中に**停止/メニュー**ボタンを押します。

ちょっとこれを！

予約録音設定時間に電源が切れている場合は、自動的に電源が入り録音を開始します。

各種メニューの設定

共通操作

1. **停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押します。**
   - 大分類メニュー選択画面が表示されます。
2. **ジョグスイッチをスライドさせて、設定したいメニュー分類を選択し、ジョグスイッチを押します。**
   - VOICE、MUSIC、共通の各メニュー選択画面が表示されます。
3. **ジョグスイッチをスライドさせて設定したいメニューを選択し、ジョグスイッチを押すと、それぞれの設定画面が表示されます。**
   - **ジョグスイッチ**をスライドさせて、各項目を選択し、**ジョグスイッチ**を押すと設定が決定され、各メニュー選択画面に戻ります。**停止/メニュー**ボタンを2度押すと、もとの停止画面に戻ります(設定の変更が反映されています)。
   - 設定中に、**停止/メニュー**ボタンが押された場合、設定をキャンセルして各メニュー画面に戻ります。

各種メニューと設定できる内容を次に示します。

※ 各メニュー選択画面で反転しているのが初期設定値です。

■ ファイル分割

ファイル分割機能を活用することにより不要な部分のカットや必要な部分の抽出ができます。

【File分割】

- **取消**:VOICEメニュー選択画面に戻ります。
- **実行**:あらかじめ分割したい場所までファイルを再生し、停止させておきます。その停止位置でファイル分割を実行します。

● **録音時間の短いファイルやMUSICフォルダ内のファイルは、ファイル分割できません(MUSICフォルダを選択中はこのメニューは表示されません)。**

● 分割した部分が前後のファイルで重複します。重複する時間と分割に必要なファイルの録音時間を以下に示します。

録音モード	重複する時間	ファイル録音時間
XHQ	約2秒	約4秒以上
HQ	約4秒	約8秒以上
SP	約8秒	約16秒以上
LP	約16秒	約32秒以上

● ファイル分割するにはメモリに空き容量が必要です。

■録音モード

録音モードを設定します。

【録音モード】

- **XHQ**:エクストラハイクオリティモード
- **HQ**:ハイクオリティモード
- **SP**:スタンダードモード
- **LP**:ロングモード

● 23ページ「録音モードを選択する」参照。

■マイク感度

SP
【マイク感度】
感度：高
感度：中
感度：低

録音(マイク)感度(高/中/低)を設定します。

【マイク感度】

- **高(高感度)**
  会議など複数人(目安10人以下)の会話を録音する場合
- **中(中感度)**
  インタビューなど少人数(目安1〜2人)の会話を近距離で録音する場合
- **低(低感度)**
  楽器のお稽古／練習などを録音する場合

● 大容量の音楽などを録音する場合は、低(低感度)にしても音が割れたりすることがあります。

ちょっとこれを！
付属のステレオマイクを接続して通常の会話を録音する場合は、「高」感度に設定してください。

■VAS設定

VASのON/OFFを設定します。

【VAS設定】

- **OFF**：VAS機能を使用しません。
- **ON**：VAS機能を使用します。

● 28ページ「VAS：音声起動録音設定について」参照。

■ステレオワイド

録音時にステレオワイド効果(広がりのある音)のON/OFFを設定します。

【ステレオワイド】

- **OFF**：ステレオワイド機能を使用しません。
- **ON**：ステレオワイド機能を使用します。

■ ファイルコピー

内蔵メモリの音声ファイルをminiSDカードの指定フォルダにコピーします。コピーしたいファイルを選択後実行してください。

【Fileコピー】
取消
SD_Aにコピー
SD_Bにコピー

【Fileコピー】

- **取消**:VOICEメニュー画面に戻ります。
- **SD_Aにコピー**:miniSDカードのAフォルダにコピーします。
- **SD_Bにコピー**:miniSDカードのBフォルダにコピーします。
- **SD_Cにコピー**:miniSDカードのCフォルダにコピーします。
- **SD_Dにコピー**:miniSDカードのDフォルダにコピーします。

● **音声ファイルが選択されていない場合はこのメニューは表示されません。**

● **MUSICフォルダ内のファイルはコピーできません。また、MUSICフォルダを選択中はこのメニューは表示されません。**

● **コピーできるのは、1ファイルにつき1時間未満のファイルまでです。(音声ファイルのみ)**

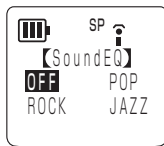
MUSICメニュー項目

■サウンドEQ

音楽に合わせた音質を選択することができます。

音質設定はヘッドホン出力のみに有効で、スピーカー出力では設定は反映されません。

【SoundEQ】

- **OFF**:低音域から高音域までフラットな音質にします。
- **POP**:低音域と高音域をやや強調します。
- **ROCK**:低音域と高音域をより強調します。
- **JAZZ**:中音域を強調します。

■BASS設定

低音域の強調モードのON/OFFを設定します。BASS設定はヘッドホン出力のみに有効で、スピーカー出力では設定は反映されません。

【BASS設定】

- **OFF**：低音域を強調せずにフラットな音質で再生します。
- **ON**：低音域が強調された迫力のある音質で再生します。

■リピートモード

再生モード（1曲/全曲リピート・ランダム）を選択することができます。

【リピート】

- **ONE**：選択中の1曲を繰り返し再生します。
- **ALL**：すべての曲を繰り返し再生します。
- **RANDOM**：すべての曲を順不同に並べ換えて繰り返し再生します。

● 36ページ「リピート/ランダム再生について」参照。

■BEEP音設定

音声ガイド·警告音(BEEP音)のON/OFFを設定します。

【BEEP設定】

- **OFF**:音声ガイド·警告音(BEEP音)を解除します。
- **音声ガイド**:操作時、音声で設定などの確認ができます(音声ガイドデータがない場合は、このメニューは表示されません)。
  - 音声ガイドが必要な場合は、付属CD-ROMのソフトウェアを実行して、再度音声ガイドをダウンロードしてください。
    73ページ「音声ガイドをダウンロードする」参照。
- **警告音**:警告音を鳴らします。

SP
【BEEP設定】
OFF
音声ガイド
警告音

ご注意

内蔵メモリのフォーマットをすると音声ガイドは消えてしまいます。

■カレンダー設定

カレンダー設定(年月日·時分)をおこないます。

【時刻設定】

YYYY年MM月DD日、(12/24時間表示)、HH時MM分

SP
【時刻設定】
2006年 3月 1日
24H 0時 0分

- 19ページ「日時を設定する」参照。

■タイマー設定

アラーム設定、予約録音の設定をおこないます。
【タイマー】

SP
【タイマー】
取消
アラーム設定
予約録音設定

- **取消**：タイマー設定を解除します。
- **アラーム設定→HH**時**MM**分：設定した時間にBEEP音またはALARMフォルダ内のファイルを再生します（フォルダ内にある1ファイルのMP3かWMAファイルを再生）。
  ファイルがない場合は、BEEP音（約10秒）を鳴らします。
- **予約録音設定→HH**時**MM**分**→録音する時間→録音フォルダ**：設定した時間に録音を開始し、設定した時間、選択したフォルダにファイルを保存します。

● アラーム設定と予約録音設定とを同時に設定することはできません。いずれかを1つのみ設定することができます。

● 49ページ「タイマーを使用する」参照。

■フォーマット

内蔵メモリ、カードをフォーマット（全データ消去）することができます。
【初期化】

SD SP
【初期化】
取消
メモリ（内蔵）IC
カード（miniSD）

- **取消**：フォーマットを取りやめます。
- **メモリ(内蔵)IC**：内蔵メモリ中の全データを消去します。
- **カード(miniSD)**：miniSDカード中の全データを消去します。

● 46ページ「全データを消去する（フォーマットする）」参照。

■コントラスト

液晶画面のコントラストを調整します。

【表示調整】

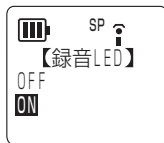
コントラスト

淡(1)⇔濃(10)

■録音LED

録音インジケータのON/OFFを設定します。

【録音LED】

- **OFF**:録音時に録音インジケータを点灯しません。
- **ON**:録音時に録音インジケータを点灯します。

■バックライト

バックライトのON/OFFを設定します。

【バックライト】

- **OFF**:バックライトを点灯しません。
- **ON**:バックライトを点灯します。

■ オートパワーオフ

オートパワーオフ機能の有効／無効を設定します。

【オートパワーオフ】

- **OFF**:オートパワーオフ機能は働きません。
- **ON**:オートパワーオフ機能が働きます。

■バージョン

ファームウェアのバージョンを表示します。

■メニューモード

メニューモードの表示方法を選択します。

【メニュー】

- **シンプル**:メニュー分類をなくし、基本的なメニュー項目のみを表示します。
- **エキスパート**:メニュー分類別にすべてのメニュー項目を表示します。

SP
【メニュー】
シンプル
エキスパート

シンプル選択時に設定できる(表示される)メニュー項目

1. 録音モード	4. BEEP音設定	7. メニューモード
2. サウンドEQ	5. カレンダー設定	ー
3. BASS設定	6. バージョン	ー

エキスパート選択時に設定できる(表示される)メニュー項目

VOICEメニュー項目	MUSICメニュー項目	共通メニュー項目
1. ファイル分割	1. サウンドEQ	1. BEEP音設定
2. 録音モード	2. BASS設定	2. カレンダー設定
3. マイク感度	3. リピートモード	3. タイマー設定
4. VAS設定	ー	4. フォーマット
5. ステレオワイド	ー	5. コントラスト
6. ファイルコピー	ー	6. 録音LED
ー	ー	7. バックライト
ー	ー	8. オートパワーオフ
ー	ー	9. バージョン
ー	ー	10. メニューモード

パソコンに接続して使う

USB接続時はパソコンから電源供給を受けるため、乾電池は消耗されません。

動作環境

本機をパソコンに接続して音楽データを取り込む場合、以下のようなパソコン環境が必要になります。

■ Windows搭載パソコン ■

NEC PC98-NX以外のNEC PC98シリーズ・Macintoshなど、Windowsを搭載していないパソコンや、自作パソコンでは動作保証いたしませんのでご注意ください。

対応機種	IBM PC/AT互換機
対応OS（日本語版）	Windows XP Professional Windows XP Home Edition Windows Millennium Edition（Me） Windows 2000 Professional(SP3以降) Windows 98 Second Edition Windows 98
USBポート	本製品接続時に1つ必要
サウンドボード	Windows®互換の16-bitをサポート
その他	スピーカーまたはヘッドホンが必要

ご注意

- 以下の環境での動作保証はいたしません。
  ーWindows 各OSからのアップグレード環境
  ーWindows 95、Windows NT
  ーWindows 各OSのデュアルブート環境
- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ご利用の環境によっては、スタンバイ、サスペンド※などのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本機使用時にはそれらのモードを使用しないでください。
  ※ サスペンド：CPU、LCD、HDDなどを停止し、電力消費量を極限まで減らしている状態。スリープと異なり、CPUは停止しているがROMへの電力供給はされている状態。
- Windows 98/98SEは専用USBドライバが必要です。この専用USBドライバは付属CD-ROMに入っています。

Windows 98/98SEのUSBドライバのインストール

ここではお手持ちのパソコンに、Windows 98/98SE専用のUSBドライバをインストールする方法を説明します。

Windows XP/Me/2000をご使用の場合は、Windows標準ドライバが動作しますので、68ページを参考に本機をパソコンのUSBポートに接続してください。

※ 本機を接続したときに「'（ファイル名）' が見つかりません。」と表示された場合、Windowsシステムの CD-ROMを挿入して、必要なファイルをインストールしてください。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

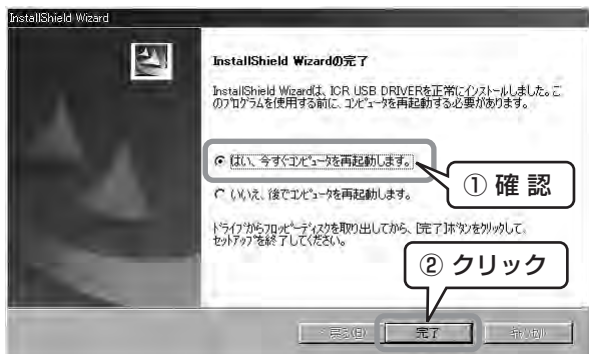
ご注意

- インストールするときは、Windowsの他のアプリケーションは終了しておいてください。

2 ドライバをパソコンにインストールする

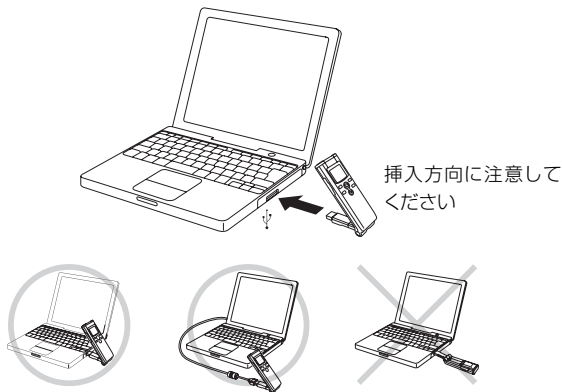
1. 付属CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入すると、自動的に**[ステレオデジタルボイスレコーダーセットアップ]**画面が起動します。自動的に起動しない場合は、CD-ROM内の**[Setup.exe]**をダブルクリックしてプログラムを起動してください。

2. **[ステレオデジタルボイスレコーダーセットアップ]**画面から、**[USBドライバ]**をクリックします。
3. 再起動を促す画面が表示された場合は、画面の指示にしたがってパソコンを再起動させてください。
4. 画面の指示にしたがい、**[次へ]**をクリックしてください。

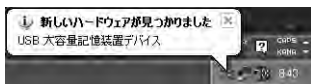
5. インストールが終了すると、以下の画面が表示されます。**[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]** が選択されていることを確認し、**[完了]**をクリックしてパソコンを再起動してください。

これで、USBドライバがインストールされました。
次ページを参考に本機をパソコンに接続してください。

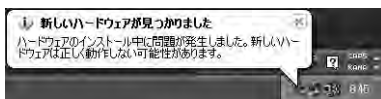
本機をパソコンに接続する

本機のUSB端子を直接パソコンのUSBポートにつなぐことができます。USB保護カバーを外して、挿入方向に気をつけて接続してください。また、無理な姿勢で挿入すると、本機に負担がかかり、故障する場合があります。その場合は、専用USB接続ケーブル(付属)を使用してください。

ご注意

- USB端子部は左右に回転しますが、それぞれ停止位置があります。無理に回転させると破損するおそれがありますのでご注意ください。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブル(付属ケーブル以外)をご使用の場合は動作保証いたしません。必ず、付属の専用USB接続ケーブルのみで接続してください。
- パソコンと接続する場合は、本機の電源を切ってから接続してください。
- パソコンとの接続時、本機に乾電池がなくても動作します。
- 接続された本機を抜き差しする時は、USB端子付近を持って抜き差ししてください。
- お使いのパソコン環境や接続するUSB 2.0 High Speed対応USBポートによっては、まれに、パソコンへ接続した本機の動作が不安定になる場合があります。そのときは、本機の**ホールド**スイッチをONにして接続してください。

はじめて本機をパソコンに接続すると

以下のような接続を表すメッセージが複数回表示されます。しばらくしてメッセージが消えるまで本機を取り外さないでください。

(画面はWindows XPです)

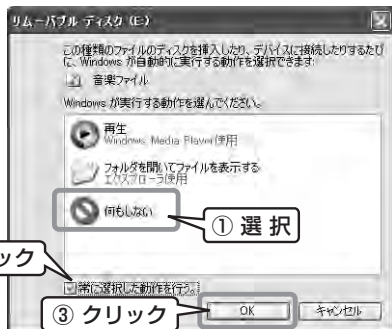
本機を接続したときに以下のメッセージが表示された場合は、次ページ「本機をパソコンから取り外す」を参考に本機をパソコンから一度取り外し、再接続してください。

(画面はWindows XPです)

本機を接続したときにパソコンに何も表示しない場合は、103ページの「本機が正常に認識されているか確かめるには」を確認してください。

Windowsが実行する動作を選ぶ

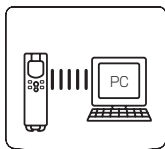
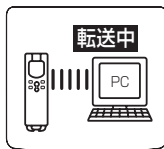
Windows XPのみ接続後、以下の画面が表示されます。

Windows 98/98SE/Me/2000に関しては、この操作はありません。

応用操作

パソコンに接続して使う

お客さまの使用環境に合わせて設定してください。
本書の例では[何もしない]を選択後、**[常に選択した動作を行う。]**にチェックし、**[OK]**をクリックしています。
これで、パソコンとの接続は完了です。

パソコンに接続している間、本機は以下のような画面になり、どの操作ボタンを押しても反応しません。

[パソコン接続時の本機表示]

[パソコンとの通信時の本機表示]

本機をパソコンから取り外すときは、下記の「本機をパソコンから取り外す」の作業を必ずおこなってください。通信表示中は本機をパソコンから抜かないでください。

本機をパソコンから取り外す

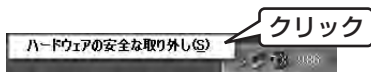
本機が通信中の表示になっていないことを確認してから下記の手順にしたがって取り外してください。

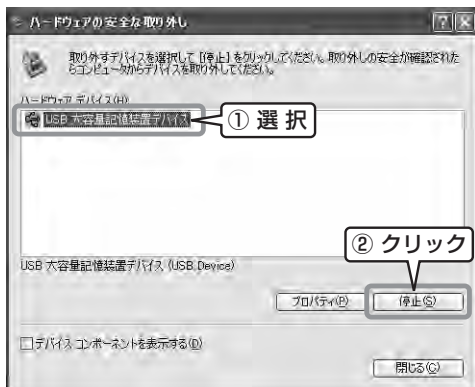
- **Windows98/98SEをご使用の場合、本機をそのままパソコンから取り外してください。**
- **Windows XP/Me/2000をご使用の場合、次の手順で取り外してください。**
  OSによって若干画面表示が異なりますが、ご了承ください。
  (以降、説明で使用する画面はWindowsXPとなります)

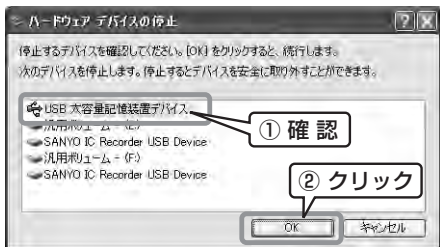
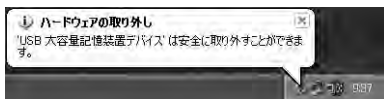
1 [タスクトレイ]のアイコンをクリックする

Windows画面右下の**[タスクトレイ]**のアイコンを右クリックします。

※ アイコンが表示されない場合は、Windowsのヘルプを参照してください。

2 表示された「ハードウェアの…」をクリックする

3 デバイスを選択し、[停止]をクリックする

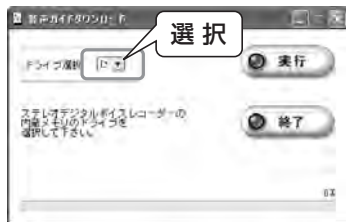
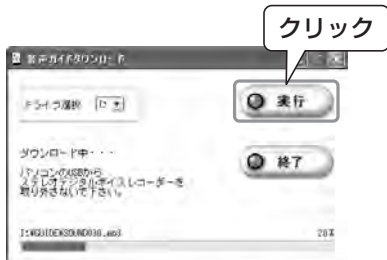
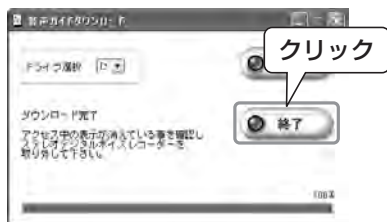
[USB大容量記憶装置デバイス]を選択し、**[停止]**をクリックします。

停止するデバイスを確認し、[OK]をクリックする

[SANYO IC Recorder USB Device]が一覧内に表示されていることを確認し、**[USB大容量記憶装置デバイス]**を選択して、**[OK]**をクリックします。

本機が取り外し可能な状態になると、以下の画面が表示されます(Windows XPのみ)。**[×]**をクリックするか、しばらくすると画面が消えます。

本機をパソコンから取り外す

パソコンのUSBポートから本機を取り外します。

音声ガイドをダウンロードする

本機で内蔵メモリをフォーマットした場合、または誤って音声ガイドファイルを消去した場合は、以下の手順にしたがって音声ガイドのダウンロードをおこなってください。

1. 本機とパソコンをUSB接続します。(68ページ「本機をパソコンに接続する」参照)
2. 付属CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入すると、自動的に**[ステレオデジタルボイスレコーダーセットアップ]**画面が起動します。自動的に起動しない場合は、CD-ROM内の**[Setup.exe]**をダブルクリックしてプログラムを起動してください。
3. **[ステレオデジタルボイスレコーダーセットアップ]**画面から、**[音声ガイドダウンロード]**をクリックします。
4. ダウンロード先に、本機の内蔵メモリのドライブを選択します。

5. **[実行]**ボタンをクリックします。音声ガイドファイルのダウンロード中にパソコンのUSBポートから本機を抜かないでください。

6. **「ダウンロード完了」**のメッセージが表示されたら、**[終了]**ボタンをクリックし、ソフトウェアを終了させてください。

※ 途中でエラー表示がされる場合は、そのエラー内容を確認し、再度ファイルのダウンロードを実行してください。

ご注意

音声ガイドファイルのダウンロード中に、下記の事項はおこなわないでください。

- 本機をパソコンから取り外す。
- CD-ROMドライブのトレーをオープンする。
- パソコンの電源を切る。

本機が正常に認識されているか確認する

1 エクスプローラを起動する

本書と同じエクスプローラ画面でご使用になる場合は、以下の方法でWindowsの**エクスプローラ**を起動してください。

**※ OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。
（説明で使用する画面はWindows XPとなります。）**

[スタート]メニューから**[マイ コンピュータ]**、またはディスクトップ上の**[マイ コンピュータ]**を右クリックして、表示されるメニュー内の**[エクスプローラ]**を選択してクリックします。

これで、**エクスプローラ**が起動します。

2 リムーバブルディスクのフォルダを表示する

本機をパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラでマイコンピュータ内に、**二つのリムーバブルディスクとして内蔵メモリ、外部メモリ(miniSDカード)の順に表示**されます。
この**[リムーバブルディスク]**をクリックすると、**内蔵メモリ、外部メモリ(miniSDカード)**に記録された内容を表示することができます。

各フォルダの説明は、97ページ「本機のフォルダ/ファイルについて」をご覧ください。

ちょっとこれを！

- 複数のリムーバブルディスクが表示される場合は、本機を接続したときに新たに表示されるリムーバブルディスクが本機であることを表します。本機をパソコンから一度取り外し、再接続してご確認ください。
- 本機をパソコンに接続したときにリムーバブルディスクが表示されない場合は、103ページ「本機が正常に認識されているか確かめるには」を参照し、確認作業をおこなってください。

録音した音声データをパソコンに保存する

ここでは、Windowsのエクスプローラを使用して本機で録音した音声ファイルをパソコンに保存する方法について説明します。

**※ OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。
（説明で使用する画面はWindows XPとなります。）**

1 本機をパソコンのUSBポートに接続する

68ページ「本機をパソコンに接続する」参照。

2 マイ コンピュータを開く

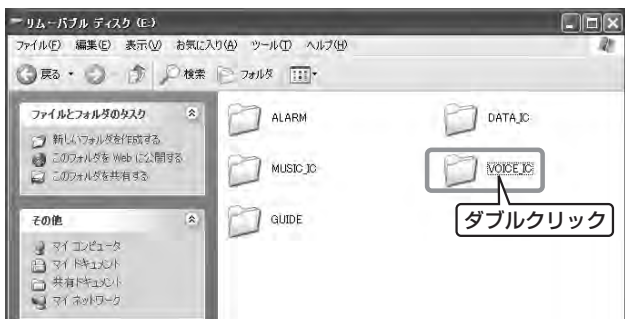
[スタート]メニューから**[マイ コンピュータ]**をクリックします。または、デスクトップ上の**[マイ コンピュータ]**をダブルクリックします。

3 リムーバブルディスクを開く

[マイ コンピュータ]内の**[リムーバブルディスク]**をダブルクリックします。

- 内蔵メモリ、外部メモリ(miniSDカード)の順に2つのリムーバブルディスクが表示されます(パソコン環境によっては逆の順番になる事もあります)。パソコンに保存したい音声ファイルが入っているリムーバブルディスクをダブルクリックしてください。

4 VOICEフォルダを開く

[リムーバブルディスク]内の**VOICE_IC**または**VOICE_SD**フォルダをダブルクリックします。

5 A･B･C･Dいずれかのフォルダを開く

[VOICE_ICまたはVOICE_SDフォルダ]内のA･B･C･Dフォルダからパソコンに保存したい音声ファイルが入っているフォルダをダブルクリックします。

保存したい音声ファイルをコピーする

保存したい音声ファイルに重なるようにマウスポインタを移動させ、その状態で右クリックします（複数のファイルを一度にコピーするときはCtrlキーを押しながらマウスポインタを移動させ、ファイルをクリックします）。メニュー画面が表示したら、**[コピー]**（本機の音声ファイルを消去してパソコンに保存したいときは**[切り取り]**）を選択してクリックします。

これでファイルをコピーする準備ができました。

7 保存先のフォルダを開く

[マイ ドキュメント]に保存する場合：**[スタート]**メニューから**[マイ ドキュメント]**をクリックします。または、デスクトップ上の**[マイ ドキュメント]**をダブルクリックします。

応用操作

パソコンに接続して使う

8 音声ファイルを保存する

[編集]をクリックし、メニュー画面が表示したら**[貼り付け]**を選択してクリックします。

コピーが開始され、同じ名前のファイルが作成されたら保存完了です。

＜コピー中の表示＞

9 本機をパソコンから取り外す

70ページ「本機をパソコンから取り外す」参照。

音楽CDの曲をパソコンに取り込む

ご注意

- お客様が作成したMP3･WMA形式ファイルは個人として楽しむ他は著作権上、権利者に無断で使用することができませんのでご注意ください。

ここでは、Microsoft Windows Media Playerを使って音楽CDの曲をWMA(またはMP3)形式に変換してパソコンに取り込む方法について説明します。

操作の方法について詳しくは、Windows Media Playerのオンラインヘルプをご覧ください。

※ OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。
(説明で使用する画面はWindows XP/Windows Media Player 9 となります。)

※ お使いのパソコン環境によっては、Windows Media Player使用中にダイアルアップ接続画面が表示される場合がありますが、その場合はインターネットに接続してください。

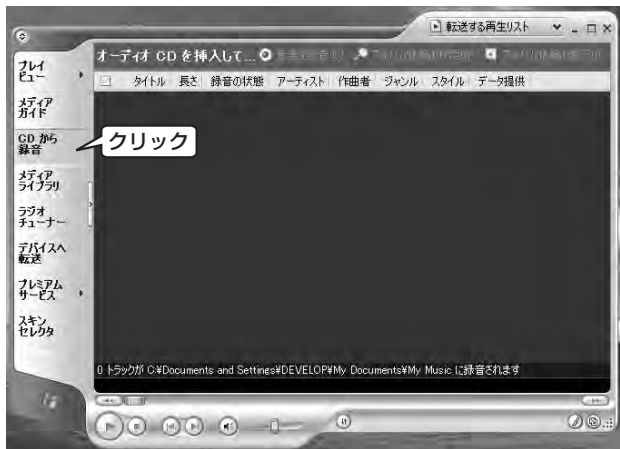
※ Windows Media Player10につきましては、弊社Webサイト"http://www.sanyo-audio.com/support/qa/icr/link/note_wmp10.html"のサポートページに各種情報を掲載していますので、そちらを参照してください。

- **Windows Media Playerの入手方法の詳細は**
  http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/をご覧ください。

1 Windows Media Playerを起動する

[スタート]メニューから**[すべてのプログラム]**－**[Windows Media Player]**を選択して、Windows Media Playerを起動します。

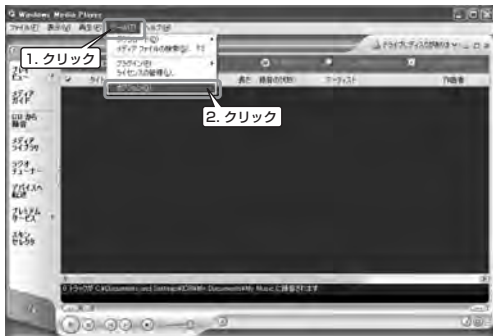
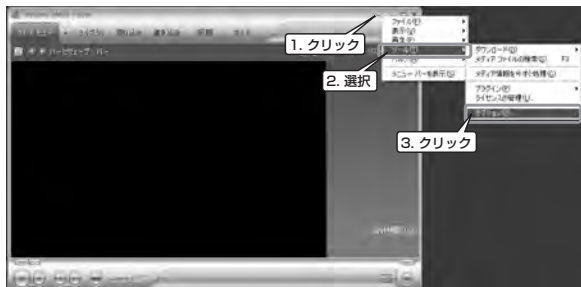
2 [CDから録音]をクリックする

- Windows Media Player 7.1上の表示：**[CDオーディオ]**
- Windows Media Player XP上の表示：**[CDからコピー]**
- Windows Media Player 10上の表示：**[取り込み]**

3 音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに挿入する

お使いのパソコンがインターネット接続環境にある場合、自動的にインターネットから音楽CDの曲情報を入手して表示します。表示されない場合は**[アルバム情報の検索]**をクリックしてください。
インターネットに接続していない場合や、CDの種類によっては曲情報が表示されない場合もあります。

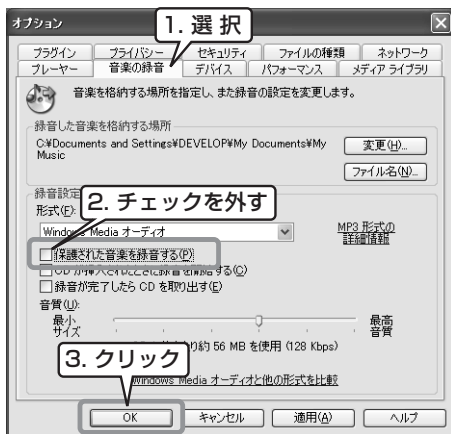
- Windows Media Player 7.1上の表示：**[名前の取得]**
- Windows Media Player XP上の表示：**[名前の取得]**
- Windows Media Player 10上の表示：**[アルバム情報の検索]**

[ツール]－[オプション]とクリックする

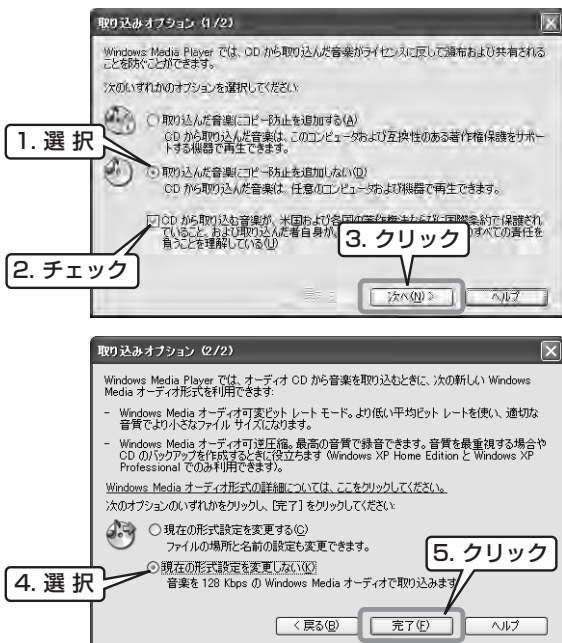
画面上部のメニューから**[ツール]－[オプション]**とクリックし、オプション画面を表示させます。

- Windows Media Player 10の場合：下図のようにWindows Media Playerの画面右上にある▼ボタンをクリックし、表示されたメニューから**[ツール]－[オプション]**をクリックします。

[音楽の録音]タブより、[保護された音楽を録音する]のチェックを外す

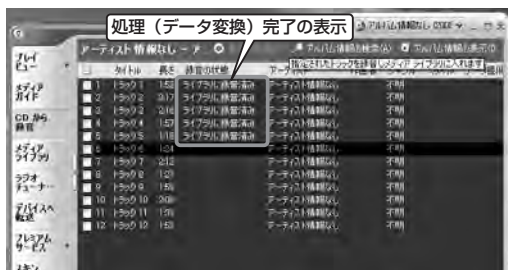
チェックを外した後、**[OK]**をクリックしてください。

- Windows Media Player 7.1の場合：**[CDオーディオ]**タブより、**[個人用の著作権管理を有効にする]**のチェックを外します。
- Windows Media Player XPの場合：**[音楽のコピー]**タブより、**[コンテンツを保護する]**のチェックを外します。
- Windows Media Player 10の場合：**[音楽の取り込み]**タブより、**[取り込んだ音楽を保護する]**のチェックを外します。

パソコンに取り込みたい曲を選択する

パソコンに取り込みたい曲をチェックして、**[音楽の録音]**をクリックします。

- Windows Media Player 7.1上の表示：**[音楽のコピー]**
- Windows Media Player XP上の表示：**[音楽のコピー]**
- Windows Media Player 10上の表示：**[音楽の取り込み]**

※ パソコンに曲を取り込む(録音する)際、下記のような画面が表示される場合があります。その際は、画面通りチェックをつけて**[完了]**をクリックしてください。

● 上記チェック項目「現在の形式設定を変更しない」下部にある、「音楽を XXX kbps の XXXXXX で取り込みます」のXXの部分は、手順5で指定した設定により表示が異なります。

7 取り込み(データ変換)が開始される

選択した曲がすべて[ライブラリに録音済み]と表示されたら、取り込み終了です。

- Windows Media Player 7.1上の表示:[ライブラリにコピー済み]
- Windows Media Player XP上の表示:[ライブラリにコピー済み]
- Windows Media Player 10上の表示:[ライブラリに取り込み済み]

以上で、CDの内容がWMA(またはMP3)形式に変換されてパソコンに取り込まれ、メディアライブラリに登録されます。
Windows Media Playerを使用して取り込まれた音楽データは、初期設定では**[マイドキュメント]**内の**[マイ ミュージック]**に保存されています。
パソコンに取り込まれた音楽データを本機に転送するには、次ページの「パソコンのデータを本機に転送する」を参照ください。

パソコンのデータを本機に転送する

ここでは、Windowsのエクスプローラを使用してWMA（またはMP3）形式の音楽ファイルを本体に転送する方法について説明します。

また、Microsoft Windows Media Playerを使用してWMA（またはMP3）ファイルを本機に転送することもできます。操作の方法について詳しくは、弊社Webサイト"http://www.sanyo-audio.com/support/qa/icr/link/wmp_device.html"のサポートページやWindows Media Playerのオンラインヘルプをご覧ください。

※ OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。（説明で使用する画面はWindows XPとなります。）

- **Windows Media Playerの入手方法の詳細は**
  http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/をご覧ください。

ご注意

- DRM付き（セキュリティ保護されている）WMAファイルは本体で再生することができません。音楽CDからパソコンへ録音する前にWindows Media Playerの設定を変更してください。
- 再生したい音楽ファイルは、必ずリムーバブルディスクのMUSIC_ICまたはMUSIC_SDフォルダ内に入れてください。VOICE_IC（A･B･C･D）またはVOICE_SD（A･B･C･D）フォルダに入れても再生できません。
- MP3･WMA形式のファイルでも、本機で正常に再生できない場合があります。
- お客様が転送したMP3･WMA形式ファイルは個人として楽しむ他は著作権上、権利者に無断で使用することができませんのでご注意ください。
- 転送中は絶対に本機をパソコンから取り外さないでください。
- 本機で再生･転送できるフォルダは、MUSIC_ICまたはMUSIC_SDフォルダの下1階層までです。

本機をパソコンのUSBポートに接続する

68ページ「本機をパソコンに接続する」参照。

転送したい音楽ファイルがあるフォルダを開く

Windows Media Playerを使用して取り込んだ（録音した）音楽データは、初期設定では**[マイ ドキュメント]**内の**[マイ ミュージック]**に保存されています。**[スタート]**メニューから**[マイ ミュージック]**をクリックして、フォルダを開きます。

● Windows Media Playerで取り込んだ（録音した）音楽データの保存先は、Windows Media Playerを起動して、**[ツール]－[オプション]－[音楽の取り込み]－[取り込んだ音楽を保存する場所]**で確認できます（Windows Media Player 10の場合）。

転送したい音楽ファイルをコピーする

転送したい音楽ファイルに重なるようにマウスポインタを移動させ（複数のファイルをコピーしたいときはCtrlキーを押しながらマウスポインタを移動させます）、その状態で右クリックします。メニュー画面が表示したら、**[コピー]**（パソコン内の音楽ファイルを消去して本機に転送したいときは**[切り取り]**）を選択してクリックします。

マイ コンピュータを開く

[スタート]メニューから**[マイ コンピュータ]**をクリックします。または、デスクトップ上の**[マイ コンピュータ]**をダブルクリックします。

5 リムーバブルディスクを開く

[マイ コンピュータ]内の**[リムーバブルディスク]**をダブルクリックします。

- 内蔵メモリ、外部メモリ(miniSDカード)の順に2つのリムーバブルディスクが表示されます(パソコン環境によっては逆の順番になる事もあります)。音楽ファイルを転送したいリムーバブルディスクをダブルクリックしてください。

6 MUSICフォルダを開く

[リムーバブルディスク]内の**MUSIC_IC**または**MUSIC_SD**フォルダをダブルクリックします。

7 音楽ファイルを転送する

[編集]をクリックし、メニュー画面が表示したら**[貼り付け]**を選択してクリックします。

コピーが開始され、同じ名前の音楽ファイルが作成されたら転送完了です。

<コピー中の表示>

転送するフォルダ・ファイルに関しては、次ページ「本機のフォルダ/ファイルについて」を参照してください。

8 本機をパソコンから取り外す

70ページ「本機をパソコンから取り外す」参照。

WMAを本機に転送する際の注意事項

パソコンから本機に転送および再生できないケースとして、以下のものがあります。
・ 著作権保護のされている音楽ファイル
・ インターネットで購入した音楽ファイル

本機のフォルダ/ファイルについて

■ 内蔵メモリ、外部メモリ(miniSDカード)共通 [VOICE_IC、VOICE_SDフォルダ]

本機にて録音したファイルを保存するフォルダです。
パソコンに保存したVOICE_IC(VOICE_SD)フォルダのデータを、再度本機のMUSIC_IC(MUSIC_SD)フォルダに転送して再生することができます。

- 内蔵メモリ(外部メモリ)の**A**フォルダに録音したファイルは、"IC_**A**_XXX(ファイル番号).MP3"("SD_**A**_XXX.MP3")というファイル名で、VOICE_IC(VOICE_SD)フォルダ内のAフォルダに保存されます。
- B·C·Dフォルダについてもそれぞれ同様です。
- 録音されたときに音声ファイルと同名の"IC_A_XXX.INX"("SD_A_XXX.INX")というファイルを作成して、インデックスでファイル管理をしています。
  インデックスファイルをパソコンで消去できますが、インデックス情報はなくなります。
- A·B·C·Dフォルダはそれぞれ最大99ファイルまで保存できます。
- VOICE_IC(VOICE_SD)フォルダ内のファイルは、A～Dフォルダごとに決められたファイル名の規則にしたがっているものだけ再生できます。
  例えば、Bフォルダ内のIC_B_001.MP3(SD_B_001.MP3)は、Aフォルダに移動すると再生できません。また、ファイル名を変更すると、そのファイルはVOICE_IC(VOICE_SD)フォルダに転送しても再生できなくなりますのでご注意ください。(ファイル名を変更したファイルはMUSIC_IC(MUSIC_SD)フォルダに転送すると再生できます。)

[MUSIC_IC、MUSIC_SDフォルダ]

パソコンから転送するファイルを保存するフォルダです。

- 転送するファイル名はどのようなものでも構いませんが、MP3形式、またはWMA形式（著作権なしのみ）のファイルに限ります。
- MUSIC_IC（MUSIC_SD）フォルダ内にMP3形式、またはWMA形式のファイルを追加した場合に関しては再生順が変わる場合があります。
  また、MUSIC_IC（MUSIC_SD）フォルダの1つ下に作成したフォルダも同様に再生順が変わる場合があります。
- MUSIC_IC（MUSIC_SD）フォルダの下にお好みのフォルダを作成して、アルバムごとや歌手ごとにファイルを入れることができます。
  （ただし、MUSIC_IC（MUSIC_SD）フォルダのすぐ下にフォルダを作成しないと再生できません。）101ページ「フォルダ音楽再生について」参照。

[DATA_IC、DATA_SDフォルダ]

リムーバブルディスクとして、（EXCEL・WORDなどの）データファイルを保存するフォルダです。

本機ではDATAフォルダに音声や曲ファイルを入れて再生することはできません。

■ 内蔵メモリのみ

[ALARMフォルダ]

アラーム時に再生するMP3/WMAファイルを保存するフォルダです。

- ALARMフォルダにファイルがない場合、アラーム音を鳴らします。
- 再生できるファイルは1ファイルのみです。

[GUIDEフォルダ]

音声ガイド（日本語版）を保存するフォルダです。

音声ガイドをダウンロードすると自動的に生成されます。

73ページ「音声ガイドをダウンロードする」参照。

再生順序の指定（プレイリスト）について

本機では、音楽の再生順序を指定することができます。
お手持ちのパソコンにてプレイリストを作成して、本機に転送することにより、ご希望の順番に音楽を再生することができます。
また、本機には複数のプレイリストを転送することができます。
（本機が対応しているプレイリストファイルはm3u※形式です。）

■ プレイリストの作成方法

1. お手持ちのパソコンに付属する文章ソフト（メモ帳など）にて、下記のように"MUSIC_ICまたはMUSIC_SD"フォルダ内の音楽ファイルを再生したい順番で入力します。

- ● プレイリストに記載するファイル名は、ドライブ名を含んだファイル名を記入してください。
  （ファイル名は目安として200文字以内で入力してください。長すぎると再生できないことがあります。）
- ● "VOICE_IC またはVOICE_SD"フォルダ内にある音声データの順番を変えることはできません。

2. 入力後、**[ファイル]-[名前をつけて保存]**をクリックし、プレイリストファイルを保存します。この時、ファイル名は必ず"○○○（ファイル名）.m3u"としてください。
3. エクスプローラなどで、本機の"MUSIC_ICまたはMUSIC_SD"フォルダに転送します。
4. 本機をパソコンから切り離して、本機で再生をおこないます。
   "MUSIC_ICまたはMUSIC_SD"フォルダにある音楽を再生します。

一部正しく再生順序を指定できない形式があります。

※ m3u形式とはMP3などのプレイリストの拡張子です。ドライブ名･フォルダ名･ファイル名･拡張子が付いたものをm3uファイルと言います。

■ プレイリストの選択方法

1. 本機の**ジョグスイッチ**を押して電源を入れます。
2. **インデックス フォルダ**ボタンを2秒以上押して、選択するプレイリストが入っているメモリ(内蔵メモリまたはカード)を選択します。
3. **インデックス フォルダ**ボタンを押して、Mフォルダを選択します。
4. **ジョグスイッチ**をスライドさせて、希望するプレイリストを選択します。
5. **ジョグスイッチ**を押します。
6. 再度**ジョグスイッチ**を押すと、希望するプレイリストで再生を始めます。
   - ● プレイリスト再生時には、液晶パネル内に" PL "が表示されます。

● プレイリスト再生を中止するには、停止中に**インデックス フォルダ**ボタンを押します。
プレイリスト再生を中止して通常の再生モードに戻ります。

※ 本機でプレイリストファイル(例:PLAYLIST.m3u)を選択できるが、プレイリスト内の音楽が再生できない場合は以下の原因が考えられます。
- ・ プレイリストに記述した内容(ドライブ名、フォルダ名、ファイル名など)に誤りがある。
- ・ プレイリストに記述した音楽ファイルがMUSIC_ICまたはMUSIC_SDフォルダ内に存在しない。

フォルダ音楽再生について

本機に音楽ファイルを転送する際にMUSIC_ICまたはMUSIC_SDフォルダ内にお好みのフォルダを複数作成して、作成したフォルダにアルバムや歌手ごとに音楽ファイルを転送しても再生することができます。
例えば、アルバム名や歌手名をフォルダにすることもできます。
ただし、作成したフォルダ内にさらにフォルダを作成した場合には、音楽ファイルを転送しても再生することができません。(MUSIC_ICまたはMUSIC_SDフォルダ内の一つ下の階層に作成したフォルダのみ有効になります。

■ フォルダの選択方法

1. 本機の**ジョグスイッチ**を押して電源を入れます。
2. **インデックス フォルダ**ボタンを2秒以上押して、選択するプレイリストが入っているメモリ(内蔵メモリまたはカード)を選択します。
3. **インデックス フォルダ**ボタンを押して、Mフォルダを選択します。
4. **ジョグスイッチ**をスライドさせて、希望するフォルダを選択します。
5. **ジョグスイッチ**を押します。
6. 再度**ジョグスイッチ**を押すと、希望するフォルダ内の音楽ファイルの再生を始めます。
   - ● フォルダ再生時には、液晶パネル内に“ FO ”が表示されます。

- ● フォルダ再生を中止するには、停止中に**インデックス フォルダ**ボタンを押します。
  フォルダ再生を中止して通常の再生モードに戻ります。

本機データのフォーマットについて

フォーマットをおこなう場合、必ず本機でおこなうようにしてください。パソコンでフォーマットをおこなうと、録音が正常にできない場合があります。
フォーマットするには46ページの「**全データを消去する(フォーマットする)**」をご覧ください。
パソコンでフォーマットをしてしまった場合は、本機でフォーマットをやり直してください。

本機が正常に認識されているか確かめるには

本機をパソコンから一度取り外し、再接続した状態で、以下の確認作業をおこなってください。

デスクトップ上の**[マイ コンピュータ]**を右クリックし、表示されるメニューから**[プロパティ]**を選択して**[システムのプロパティ]**画面を開きます。**[ハードウェア]**タブ内の**[デバイスマネージャ]**ボタンをクリックして**[デバイスマネージャ]**を開きます。

[ディスクドライブ]と**[ハードディスクコントローラ]**を開いて、下図のように表示されていれば、ドライバが正しくインストールされています。

<Windows 98の事例>

- Windows ME の場合：
  ディスクドライブ：「SANYO IC Recorder」
  ユニバーサル シリアル バス コントローラ：
  「USB 大容量記憶装置デバイス」
- Windows 2000/XP の場合：
  ディスクドライブ：「SANYO IC Recorder」 x 2
  USB(Universal Serial Bus)コントローラ：
  「USB 大容量記憶装置デバイス」

上図のような表示にならない場合、次ページからの「デバイスマネージャで正しく表示されなかったら？」をご覧いただき、お使いのOSにしたがった操作をおこなってください。

■ Windows 98/98SEの場合

66ページ「Windows 98/98SEのUSBドライバのインストール」の操作でインストールがうまくいかなかった場合は、次の手順にしたがって再度おこなってください。

Windows XP/Me/2000をご使用の場合 → 112ページ参照

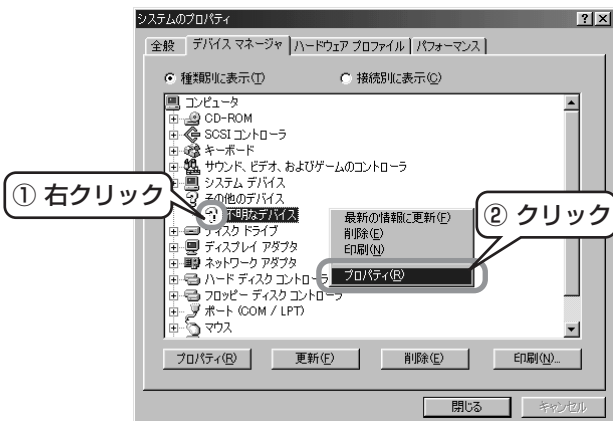
1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

起動中のアプリケーションはすべて終了させてから、以下の作業をしてください。
接続されている他のUSB機器(正しく動作しているマウス・キーボードは除く)はすべて取り外しておいてください。

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、本機をパソコンのUSBポートに接続する

CD-ROM挿入時に、自動的に**[ステレオデジタルボイスレコーダーセットアップ]**画面が起動しますが、ウィンドウ右上の**[×]**ボタンをクリックし、画面を閉じてください。

3 「デバイスマネージャ」画面を確認する

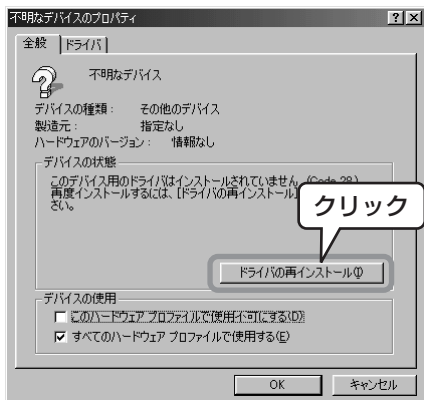
[スタート]メニュー－**[設定]**－**[コントロールパネル]**－**[システム]**－**[デバイスマネージャ]**を開きます。
「!」または、**「?」**マークのついた**[不明なデバイス(表示が異なる場合があります。例:USB Device)]**を右クリックし、**[プロパティ]**を選択してクリックしてください。

※ 上記で「?」や「!」マークの付いた不明なデバイス（もしくはUSB Device）が表示されていない場合、以下の手順で確認をおこなってください。

1. 他に使用しているUSB機器があれば、それらをすべて外して本機を単独で接続する。
2. パソコンにUSBポートが複数ある場合（前面・背面など）は、別のポートに本機を接続する。
3. USBハブ（USB端子分配用周辺機器）を介して本機を接続している場合は、一旦ハブを取り外してパソコンのUSBポートに直接本機を接続する。
4. 本機を直接パソコンのUSBポートに接続している場合は、付属の専用USB接続ケーブルを使用して本機を接続する。
5. 本機の**ホールド**スイッチをOFFに設定して接続している場合は、ONに切り換えて接続する。

ご注意

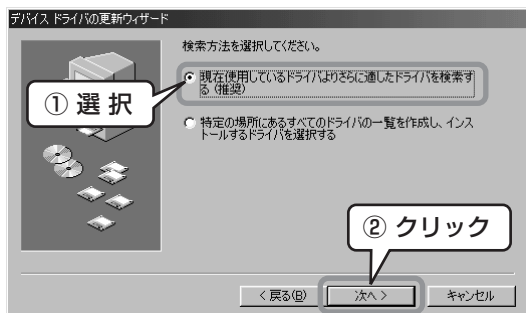
接続するUSBケーブルは、必ず付属の専用USB接続ケーブルを使用してください。

[ドライバの再インストール]をクリックする

[ドライバの再インストール]をクリックします。

5 インストールを開始する

「デバイスドライバの更新ウイザード」が開くので、**[次へ]**をクリックしてください。

6 検索方法を選択する

[現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)]を選択し、**[次へ]**をクリックします。

7 検索場所を指定する

[検索場所の指定]にチェックを入れます。

[参照]ボタンをクリックし、CD-ROMの**「¥USB_DRV_for_Win98(MassStorage)¥Win98」**フォルダを選択し、**[次へ]**をクリックします。

※ 他のチェックボックスにはチェックを入れないでください。

8 [次へ]をクリックする

下記のように表示されていることを確認して、**[次へ]**をクリックします。

9 [完了]をクリックする

[完了]をクリックします。

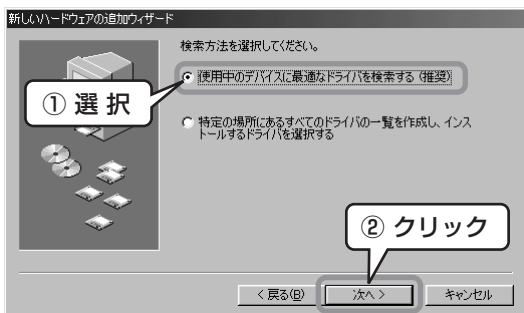
再起動を促す画面が表示されます。画面の指示にしたがってパソコンを再起動させてください。

10 [次へ]をクリックする

再起動後、下記のように表示されていることを確認して、**[次へ]**をクリックします。

上記の画面が表示されない場合は、本機をパソコンから一度取り外し、再接続してご確認ください。

11 検索方法を選択する

[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、**[次へ]**をクリックします。

12 検索場所を指定する

[検索場所の指定]にチェックを入れます。
[参照]ボタンをクリックし、CD-ROMの**「¥USB_DRV_for_Win98 (MassStorage)¥Win98」**フォルダを選択し、**[次へ]**をクリックします。
※ 他のチェックボックスにはチェックを入れないでください。

13 [次へ]をクリックする

下記のように表示されていることを確認して、**[次へ]**をクリックします。

14 インストールを完了する

[完了]をクリックします。

これで、USBドライバのインストールが完了しました。
103ページ「本機が正常に認識されているか確かめるには」を参照して、再度確認してください。

■ Windows XP/Me/2000の場合

※ Windows XP/Me/2000で103ページのデバイスマネージャのような表示がでない場合、以下の手順で確認をおこなってください。

1. 起動中のアプリケーションはすべて終了させてください。
2. 接続されている他のUSB機器（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）はすべて取り外して、本機を単独で接続してください。
3. パソコンにUSBポートが複数ある場合（前面・背面など）は、別のポートに本機を接続する。
4. USBハブ（USB端子分配用周辺機器）を介して本機を接続している場合は、一旦ハブを取り外してパソコンのUSBポートに直接本機を接続する。
5. 本機を直接パソコンのUSBポートに接続している場合は、付属の専用USB接続ケーブルを使用して本機を接続する。
6. 本機のホールドスイッチをOFFに設定して接続している場合は、ONに切り換えて接続する。

ご注意

接続するUSBケーブルは、必ず付属の専用USB接続ケーブルを使用してください。

故障かな?と思うまえに

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。
直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機が動作しない

原　因	乾電池が正しく入っていないか、乾電池切れである
解決方法	乾電池が正しく入っていることを確認してください。一度乾電池を完全に抜いてから、乾電池を正常に入れ直してください。または新しいアルカリ乾電池に換えてください。 13ページ「乾電池の入れ方/交換方法」参照

原　因	内蔵メモリまたは外部メモリ(miniSDカード)が異常である
解決方法	内蔵メモリまたは外部メモリをフォーマット(初期化)してから、再度録音しなおしてください。 46ページ「全データを消去する(フォーマットする)」参照

ボタンを押しても反応しない

原　因	誤動作防止機能(ホールド機能)が設定されている
解決方法	誤動作防止機能(ホールド機能)を解除してください。 17ページ「誤動作を防止する(ホールド機能)」参照

原　因	USB接続したままである
解決方法	本機をパソコンから取り外してください。 70ページ「本機をパソコンから取り外す」参照

音声が聞こえない

原　　因	音量が小さい
解決方法	音量を調節してください。 19ページ「音量を調節する」参照

VOICE(A・B・C・D)フォルダ内のファイルが再生できない

原　　因	ファイル名が異なる
解決方法	パソコン上でファイル名を変更すると、再生できません。ファイル名を"IC_X(フォルダ名)_XXX(ファイル番号).MP3("SD_X_XXX.MP3")"に戻してください。

MUSIC(M)フォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない

原　　因	・再生できるファイル形式ではない ・著作権保護のされている音楽ファイル ・インターネットで購入した音楽ファイル
解決方法	正常に再生できるWMA形式またはMP3形式のファイルをご使用ください。

原　　因	転送先が異なる
解決方法	パソコンからファイルを転送するときに、VOICE(A・B・C・D)フォルダに入れても、本機で再生できません。必ずリムーバブルディスク内のMUSIC(M)フォルダ内に転送してください。 90ページ「パソコンのデータを本機に転送する」参照

原　　因	本機で再生できないデータとなっている
解決方法	エンコーダー（MP3･WMA変換）ソフトを別のものに変えてファイルを作成してください。

原　　因	プレイリストに書かれているファイルがMUSIC（M）フォルダ内にない
解決方法	プレイリストからそのファイル名を削除するか、MUSIC（M）フォルダ内にそのファイルを転送してください。

ファイル分割ができない

原　　因	メモリの空き容量が足りない
解決方法	不要なファイルを消去してください。 41ページ「ファイルを消去する」参照

原　　因	ファイルの録音時間が短かすぎる
解決方法	ファイル分割は録音時間の長いファイルでおこなってください。 LP…約32秒以上、SP…約16秒以上、 HQ…約8秒以上、XHQ…約4秒以上

カレンダーが正しく表示されない

解決方法	カレンダー設定が初期化されていますので日時を再設定してください。 19ページ「日時を設定する」参照

パソコン接続時に、リムーバブルディスクが表示されない

原　　因	パソコンと本機が正しく接続されていない
解決方法	パソコンのUSBポートに最後まで正しく差し込まれているか、また専用USB接続ケーブルのUSBコネクタが正しく最後まで差し込まれているかどうか確認してください。 68ページ「本機をパソコンに接続する」参照

原　　因	パソコンからの電源供給が不十分
解決方法	USBハブを利用している場合は、パソコン本体のUSBポートと本機とを直接接続してください。または、パソコン本体に複数USBポートがある場合は、他のポートに接続してください。 68ページ「本機をパソコンに接続する」参照

原　　因	ネットワークドライブが割り当てられている
解決方法	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター(ドライブ名を表すアルファベット)がぶつかり、リムーバブルディスクが作成されない場合があるので、ネットワークドライブの割り当てを変更してから再度接続してください。 ネットワークドライブの割り当てについてはネットワーク管理者などにお聞きください。

原　　因	パソコンと本機が正しく接続されない
解決方法	パソコンと本機が正しく認識しない場合、再度接続してください。 本機のホールドスイッチがOFFに設定されている場合は、ONに切り換えて接続しますと、認識されることがあります。ただし、転送速度が遅くなります。

リムーバブルディスクの中身が見えない

原　　因	miniSDカードが入っていない
解決方法	miniSDカードを入れてください。

ファイルが消去できない

原　　因	ファイルの属性が読み取り専用に設定されている
解決方法	本機をパソコンに接続して、ファイルの属性を変更するか、ファイルを消去してください。 または、内蔵メモリまたは外部メモリ(miniSDカード)のフォーマット(初期化)をおこなってください。 内蔵メモリをフォーマットしますと、音声ガイドも消えます。 46ページ「全データを消去する(フォーマットする)」参照

音声ガイドが使用できない

原　　因	BEEP音設定が音声ガイドになっていない
解決方法	メニューモードからBEEP音設定で音声ガイドを選択設定してください。 61ページ「各種メニューの設定-BEEP音設定」参照

原　　因	音声ガイドファイルが消去されている
解決方法	付属CD-ROMのソフトウェアを実行して再度音声ガイドをダウンロードしてください。 73ページ「音声ガイドをダウンロードする」参照

パソコンから本機へのデータの転送速度が遅い

原　　因	パソコンのUSB1.1に接続している
解決方法	USB2.0のHigh Speed対応ポートに接続してください。

録音するとノイズが聞こえる

原　　因	録音（マイク）感度が適切でない
解決方法	録音（マイク）感度を適切に切り換えてください。 58ページ「録音（マイク）感度を設定するには」参照

解決方法	内蔵メモリまたは外部メモリ（miniSDカード）のフォーマット（初期化）をおこなってください。 内蔵メモリをフォーマットしますと、音声ガイドも消えます。 46ページ「全データを消去する（フォーマットする）」参照

録音した内容の音が途切れる

原　　因	VAS(音声起動録音)設定が「ON」になっている
解決方法	VAS設定を「OFF」にして録音してください。 28ページ「VAS:音声起動録音設定について」参照

“MEMORY ERR”と表示されて動作できない

原　　因	FAT管理システムのエラー
解決方法	内蔵メモリまたは外部メモリ(miniSDカード)のフォーマット(初期化)をおこなってください。 内蔵メモリをフォーマットしますと、音声ガイドも消えます。 46ページ「全データを消去する(フォーマットする)」参照

より詳細な情報やその他のよくあるご質問は、当社ホームページのサポートページ“http://www.sanyo-audio.com/support/icr/index.html”にて随時更新しています。そちらも併せてご覧ください。

お手入れについて

お手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

主な仕様

項目	仕様
内蔵メモリ	：1GB
カードスロット	：miniSDカードスロット
対応OS	：Windows XP/Me/2000/98/98SE
録音時間	：約142時間00分（LP時） 約71時間00分（SP時） 約35時間20分（HQ時） 約17時間40分（XHQ時）
録再周波数特性	：40〜3.5kHz（内蔵マイクLP時） 40〜3.5kHz（内蔵マイクSP時） 40〜7.5kHz（内蔵マイクHQ時） 40〜15kHz（内蔵マイクXHQ時）
録音フォーマット	：MP3
再生フォーマット	：MP3（MPEG1 LAYER3、MPEG2 LAYER3、MPEG2.5 LAYER3）・WMA
再生周波数	：20〜20kHz
サンプリング周波数	：16〜44.1kHz
再生対応ビットレート	：16〜192kbps（MP3）・32〜160kbps（WMA）
S/N比	：82dB
入・出力端子	：USB/ステレオヘッドホン3.5φミニ/ステレオマイク
動作温度	：＋5℃〜＋35℃
定格出力（ヘッドホン）	：10mW＋10mW(16Ω負荷時、JEITA/DC)
電源	：単4形アルカリ乾電池×2本
電池持続時間（JEITA）	：アルカリ乾電池 約36時間（連続録音時間） 録音モード：SP、録音LED/バックライト：OFF時 アルカリ乾電池 約34時間（連続再生時間） 録音モード：SP、バックライト：OFF時、 ヘッドホン再生時 アルカリ乾電池 約22時間（連続再生時間） 録音モード：SP、バックライト：OFF時、 スピーカー再生時 ※ 連続録音再生時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。
最大外形寸法	：幅38×高さ118×奥行き22.4mm（折りたたみ時）
質量	：約85g（電池含む）
付属品	：単4形アルカリ乾電池 (2)　専用USB接続ケーブル (1) 本書（保証書付） (1)　基本操作ガイド (1) CD-ROM (1)　ステレオマイク (1) インナーイヤー型ステレオヘッドホン (1)

※ 内蔵メモリの特性により、録音時間が短くなることがあります。

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より**1年間**です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の113ページからをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店か、または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間経過後の修理は

修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間について

ステレオデジタルボイスレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

お客さまご相談窓口

まずはお買い上げ販売店へ

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記の相談窓口にお問い合わせください。
総合相談窓口: 家電製品についての全般的なご相談
修理相談窓口: 修理サービスについてのご相談

総合相談窓口（全般的なご相談） 三洋電機(株) お客様センター

相談受付時間

9:00〜18:30

北海道地区............... 札　幌 ☎ (011)290-1522
東北地区................... 仙　台 ☎ (022)714-6137
関東地区................... 東　京 ☎ (03)3815-1111
中部・北陸地区......... 名古屋 ☎ (052)533-5245
近畿・四国地区......... 大　阪 ☎ (06)6994-9570
中国地区................... 広　島 ☎ (082)297-6067
九州・沖縄地区......... 福　岡 ☎ (092)461-8022

● 郵便・FAXでご相談される場合は
三洋電機(株)お客さまセンター
〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX (06)6994-9510

修理相談窓口（修理サービスについてのご相談）

三洋コンシューママーケティング(株)

受付時間　月曜日～金曜日　[9:00～18:30]
土曜･日曜･祝日　[9:00～17:30]

出張修理のご依頼　その他の修理相談窓口

東コールセンター	**東京**	☎ (03)5302-3401
西コールセンター	**大阪**	☎ (06)4250-8400

関東･首都圏および近畿地区以外にお住まいのお客さまは下記の電話番号をご利用いただけます。

東コールセンターへの転送電話番号

北海道地区	札　幌	☎ (011)833-7888
東北地区	仙　台	☎ (022)382-2213
長野地区	長　野	☎ (0263)26-1772
新潟地区	新　潟	☎ (025)285-2451
福島地区	福　島	☎ (024)945-6811

西コールセンターへの転送電話番号

北陸地区	金　沢	☎ (076)237-6650
東海地区	名古屋	☎ (052)979-3456
中国地区	広　島	☎ (082)293-9333
四国地区	高　松	☎ (087)844-8321
九州地区	福　岡	☎ (092)922-9311

沖縄地区　沖　縄　☎ (098)944-5018
受付時間　月曜日～土曜日(日曜､祝日および当社の休日を除く)
[9:00～12:00 、13:00～17:30]

※「持ち込み修理および部品」についてのご相談は、各地区サービスセンターで承っております。
受付時間：　月曜日～土曜日（日曜、祝日を除く）　[9:00～17:30]

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

<利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機（株）および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。
個人情報のお取り扱いについての詳細は、
ホームページhttp://www.sanyo.co.jpをご覧ください。

北　海　道　地　区

札　　幌	(011)831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
函　　館	(0138)48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗町589-295
苫 小 牧	(0144)57-8707	〒059-1364	苫小牧市沼ノ端230-1034
旭　　川	(0166)22-2421	〒070-0073	旭川市曙北三条7-3-3
北　　見	(0157)23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
釧　　路	(0154)22-1576	〒085-0021	釧路市浪花町7-7

東　北　地　区

仙　台	(022)384-0444	〒981-1225	宮城県名取市飯野坂3-4-8
青　森	(017)729-3401	〒030-0141	青森県青森市大字上野字山辺29-5
八　戸	(0178)28-9225	〒039-1121	青森県八戸市卸センター1-6-7
盛　岡	(019)623-1600	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-12-1
水　沢	(0197)23-6621	〒023-0003	岩手県水沢市佐倉河字羽黒田45
山　形	(023)641-1769	〒990-2331	山形県山形市飯田西4-5-35
酒　田	(0234)23-3817	〒998-0842	山形県酒田市亀ヶ崎6-7-16
秋　田	(018)862-6551	〒010-0802	秋田県秋田市寺内イサノ93-1
郡　山	(024)945-6793	〒963-0107	福島県郡山市安積3-120

関　東・甲　信　越　地　区

さいたま	(048)664-2319	〒331-0812	埼玉県さいたま市北区宮原町1-30
坂　戸	(049)284-8900	〒350-0214	埼玉県坂戸市千代田5-3-17
栃　木	(028)653-3883	〒321-0111	栃木県宇都宮市上川田町字免ノ内765-5
茨　城	(0298)64-4751	〒300-3261	茨城県つくば市花畑2-15-3
水　戸	(029)251-4125	〒311-4152	茨城県水戸市河和田3-2386-1
群　馬	(027)362-1151	〒370-0001	群馬県高崎市中尾町池の内441
西関東	(0276)22-7702	〒373-0015	群馬県太田市東新町72-2
新　潟	(025)285-2431	〒950-0942	新潟県新潟市小張木2-16-43
長　岡	(0258)46-8065	〒940-2127	新潟県長岡市新産2-9-4
上　越	(025)543-3535	〒942-0081	新潟県上越市五智1-11-8 齋藤オフィス
城　東	(03)3607-3191	〒125-0051	東京都葛飾区新宿4-10-15
城　北	(03)3958-1261	〒173-0021	東京都板橋区弥生町72-5
城　西	(03)3376-3361	〒151-0073	東京都渋谷区笹塚3-1-13
武蔵野	(042)364-7721	〒183-0033	東京都府中市梅町5-9-1
戸　塚	(045)827-2831	〒224-0806	神奈川県横浜市戸塚区上品濃9-14
相模原	(042)742-2272	〒228-0805	神奈川県相模原市豊町17-11
平　塚	(0463)55-3926	〒254-0014	神奈川県平塚市四之宮3-20-63
千　葉	(043)241-7311	〒260-0025	千葉県千葉市中央区問屋町5-20
鎌ケ谷	(047)441-0111	〒273-0105	千葉県鎌ケ谷市鎌ケ谷7-6-59
山　梨	(055)226-2561	〒400-0035	山梨県甲府市飯田4-8-23

中　部　地　区

名古屋	(052)979-3455	〒461-0025	愛知県名古屋市東区徳川1-901 サンエース徳川ビル1F
名古屋西	(052)485-3620	〒453-0816	愛知県名古屋市中村区京田町2-1
岡崎	(0564)23-3418	〒444-0860	愛知県岡崎市明大寺本町1-20
岐阜	(058)246-3417	〒501-6006	岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35
静岡	(054)261-4151	〒420-0813	静岡県静岡市葵区長沼885
沼津	(055)935-0501	〒410-0822	静岡県沼津市下香貫七面1152-2
浜松	(053)461-8685	〒430-0812	静岡県浜松市本郷123
松本	(0263)40-3411	〒390-0852	長野県松本市島立1064-1
長野	(026)299-9501	〒388-8006	長野県長野市篠ノ井御幣川字 東松島1000-2
金沢	(076)292-2060	〒921-8005	石川県金沢市間明町2-100
富山	(076)422-7020	〒939-8211	富山県富山市二口町1-13-8
福井	(0776)53-7134	〒912-0834	福井県福井市丸山1-1002

近　畿　地　区

三重	(059)236-5195	〒514-0111	三重県津市一身田平野285-2
大阪	(06)6992-6235	〒570-0086	大阪府守口市竹町4-13
大阪南	(06)6761-4600	〒543-0001	大阪府大阪市天王寺区上本町 5-1-14三洋ビル2F
大阪東	(0729)65-1811	〒578-0903	大阪府東大阪市今米2-3-29
阪和	(072)221-8571	〒590-0959	大阪府堺市大町西3-1-16
京都	(075)672-0877	〒601-8102	京都府京都市南区上鳥羽菅田町41
三丹	(0773)27-3458	〒620-0856	京都府福知山市土師宮町1-66
奈良	(0744)22-7888	〒634-0837	奈良県橿原市曲川町7-1-31
滋賀	(077)545-4221	〒520-2134	滋賀県大津市瀬田1-1-5
和歌山	(073)473-7112	〒640-8301	和歌山県和歌山市岩橋1636-1
田辺	(0739)22-7520	〒646-0051	和歌山県田辺市稲成町南江原318
神戸	(078)641-1251	〒653-0038	兵庫県神戸市長田区若松町2-1-9 ピアザビル3F
阪神	(06)6432-3401	〒661-0026	兵庫県尼崎市水堂町4-17-6
姫路	(0792)96-2141	〒670-0981	兵庫県姫路市西庄字八町108
淡路	(0799)22-2702	〒656-0101	兵庫県洲本市納字横竹308-1

中　国　地　区

広　島	(082)293-6511	〒733-0012	広島県広島市西区中広町2-1-2
福　山	(084)954-4101	〒721-0952	広島県福山市曙町4-22-10
岡　山	(086)245-1634	〒700-0973	岡山県岡山市下中野703-101
津　山	(0868)22-6133	〒708-0002	岡山県津山市上河原239-10
鳥　取	(0857)24-2930	〒680-0843	鳥取県鳥取市南吉方3-107
浜　田	(0855)22-7883	〒697-0023	島根県浜田市長沢町3049
松　江	(0852)23-1183	〒690-0017	島根県松江市西津田4-1-14
山　口	(083)973-3391	〒754-0024	山口県山口市小郡町若草町2-6

四　国　地　区

愛　媛	(089)971-3342	〒791-8036	愛媛県松山市高岡町148-1
香　川	(087)843-1840	〒761-0101	香川県高松市春日町片田1657-1
高　知	(088)831-2570	〒780-8007	高知県高知市仲田町6-12
徳　島	(088)699-4131	〒771-0219	徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓150-2

九　州　地　区

福　岡	(092)928-3414	〒818-8534	福岡県筑紫野市紫6-1-1
北九州	(093)521-5286	〒802-0023	福岡県北九州市小倉北区下富野2-10-28
中九州	(0942)37-3934	〒830-0038	福岡県久留米市西町105-18
長　崎	(095)824-5628	〒850-0012	長崎県長崎市本河内3-21-43
佐世保	(0956)31-7635	〒857-1162	長崎県佐世保市卸本町17-1
熊　本	(096)357-1122	〒861-4106	熊本県熊本市南高江3-2-88
八　代	(0965)35-3483	〒866-0871	熊本県八代市田中東町12-7
大　分	(097)543-3454	〒870-0822	大分県大分市大道町3-4-32
宮　崎	(0985)29-3441	〒880-0022	宮崎県宮崎市大橋3-224
鹿児島	(099)251-4615	〒890-0068	鹿児島県鹿児島市東郡元町11-10

沖　縄　地　区

沖　縄	(098)944-5018	〒903-0103	沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株)　サービス部

(011205G)

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
   イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ロ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭以外に使用された場合の故障または損傷。
   ホ. 本書の提示がない場合。
   ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客さまの負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客さまご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

● 保証期間経過後の修理補修用性能部品の保有期間について詳しくは「保証書とアフターサービス」（122ページ）をご覧ください。

索引

アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

三洋電機株式会社
パーソナルエレクトロニクスグループ
DIカンパニー　国内販売担当
〒574-8534 大阪府大東市三洋町1番1号
電話　大東(072)870-4186(直通)
ボイスレコーダーユーザーサポートホームページアドレス
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/index.html
(JP0)　1AD6P1P1971-H